

一般財団法人 黎明郷

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

Hirosaki Stroke and Rehabilitation Center

年報

第1号

2011.4~2014.3



一般財団法人 黎明郷 理念

質の高い医療・リハビリテーションを実践し、
地域社会の保健医療福祉に貢献します。

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 基本方針

- ◆地域に開かれた病院として脳卒中医療に貢献します。
- ◆活発な地域連携（病病連携・病診連携）を展開します。
- ◆最新かつ最適な医療とリハビリテーションを提供します。
- ◆チーム医療により自立への支援に努めます。
- ◆安全に配慮し、快適な入院環境作りを目指します。
- ◆最新の脳卒中医療情報を発信します。

目 次

巻頭言	院長 保嶋 実	1
施設概要・沿革		2
機構図		3
役員名簿（理事・監事）		4
評議員名簿		7
職員数		10
診療実績（入院患者数等、検査件数）		11
脳ドック・訪問看護・訪問リハビリ実績		13
研修認定施設		14
専門医数		15
治験実績		16
実習受入状況		17
財団事業（弘前大学寄附講座開講）		18
財団事業（青森県高次脳機能障害支援拠点機関）		19
財団事業（青森県高齢者等地域リハビリテーション支援センター）		22
財団事業（青森県成人・老人リハビリテーション施設協会）		27
財団事業（黎明郷リハビリテーションケア勉強会）		30
学術報告		32
学会発表		32
研究会発表		43
依頼講演		45
論文		53
委員会報告		56
医療安全委員会		56
院内感染防止対策委員会		58
栄養管理委員会		60
褥瘡対策委員会		62
衛生委員会		64
検査適正委員会		66
薬事審議委員会		67
倫理委員会		69
広報委員会		71
教育研修委員会		73
患者サービス委員会		75
部署代表者委員会		77
ワークライフバランス推進委員会		79
N S T		80
I C T		82
脳ドックワーキンググループ		84
口腔ケアワーキンググループ		85
編集後記	広報委員長（副院長） 岩田 学	86

巻 頭 言

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
院 長 保 嶋 実

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター（以下センター）が平成23年4月1日に誕生して以来、懸案であった年報が漸く公表されました。センターは脳卒中の超急性期から、地域機関との連携を図りながら社会復帰に至るまでの包括的な質の高い医療とリハビリテーションの提供を目指しています。職員一同、一層の診療機能の充実さらには脳卒中医療の進歩に向けて日々研鑽そして情報発信に努めております。

医療の進歩や診療報酬の改定など診療環境の変化、地域医療機関の変貌などセンターを取り巻くあらゆる状況が時々刻々変容を続けていると言っても過言ではありません。このような中で、センターにおきましても変容する状況の対応に止まらず、脳ドックの開設、脳卒中の血管内治療などに積極的に取り組んでおります。さらには弘前大学の各診療科との連携強化とともに寄附講座（高血圧・脳卒中内科学講座）を開講し、診療機能の向上と情報発信を続けております。

年報に記載されている事項特に数値は現在のセンターの診療や情報発信の現況を示す指標であり、問題点の分析と改善に向けての貴重な資料となるものであります。同時にセンターの診療の情報開示の観点からも意義の高いものであります。記載された基本的事項を変化させることなく、継続的に公表することが重要になります。いずれにしても今後に向けて、十分に吟味し、活用されることを願っております。

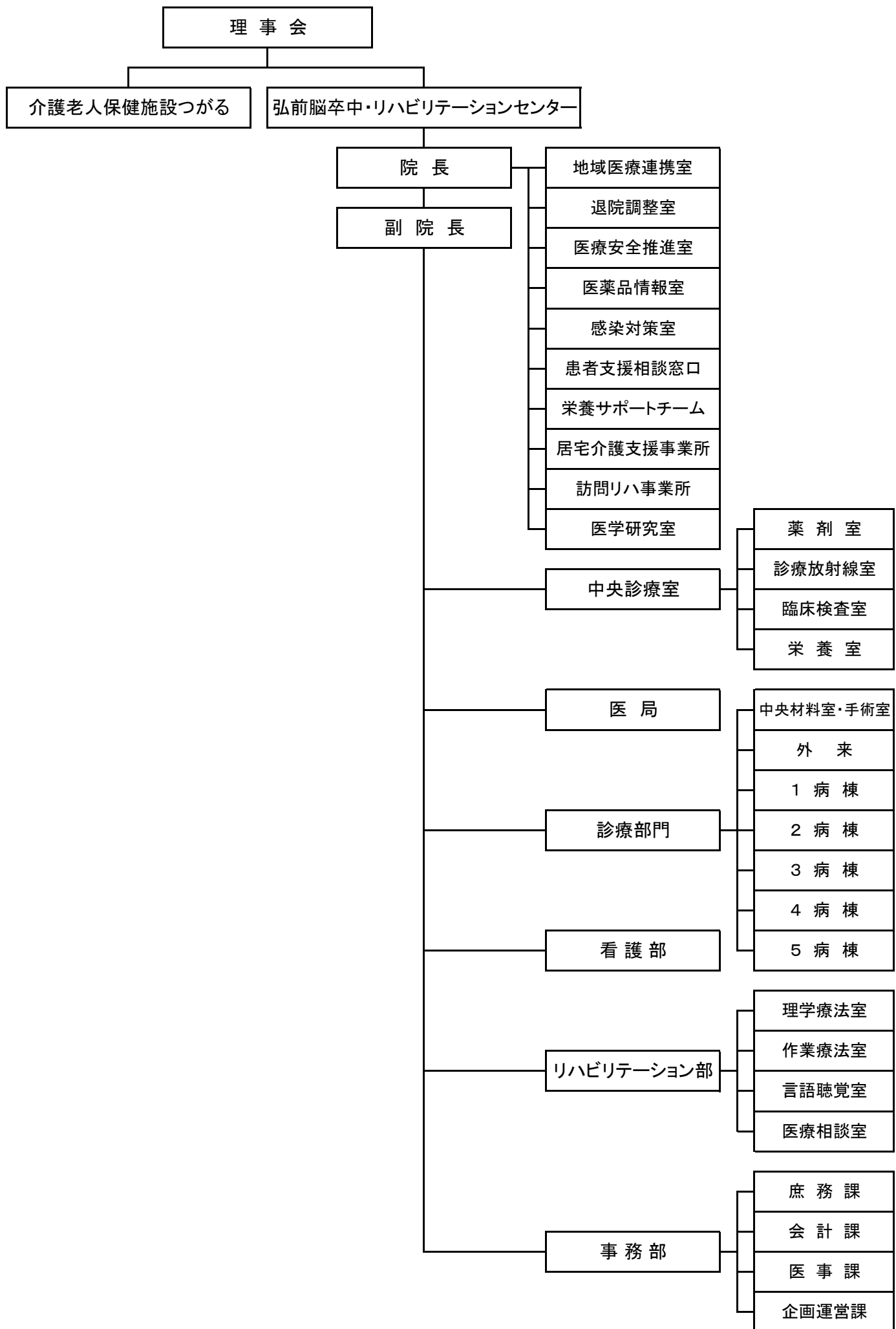
年報の作成を担当した広報委員会の岩田 学委員長はじめ、各委員諸氏の労に敬意を表したいと存じます。

施設概要

年 月	内 容
平成17年 7月	弘前脳卒中センター開設（145床） 構造/鉄筋コンクリート造り地上4階 地面積 19,872.80 m ² 建築延面積 11,414.94 m ² 一般病床 35床 回復期リハビリテーション病棟 110床 内科、神経内科、脳神経外科、リハビリテーション科、整形外科
平成23年 4月	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター開設（名称変更）（248床） 構造/鉄筋コンクリート造り地上4階 敷地面積 25,828.95 m ² 建築延面積 18,579.55 m ² 一般病床 79床 回復期リハビリテーション病棟 169床 内科、神経内科、脳神経外科、リハビリテーション科、整形外科、歯科
平成25年 4月	診療科目変更 脳・血管内科、循環器内科、内科、脳神経外科、リハビリテーション科、神経内科、放射線科、歯科

沿革

年 月	内 容
昭和41年 4月	青森県知事より財団法人黎明郷の設立認可
昭和41年 7月	碓ヶ関村より診療所の委託を受け診療を開始（10床）
昭和42年 4月	黎明郷リハビリテーション病院開設（60床、昭和57年7月248床）
昭和60年 9月	黎明郷リハビリテーション病院に高血圧センター併設
平成15年 4月	黎明郷リハビリテーション病院に介護老人保健施設つがるを併設
平成17年 7月	弘前脳卒中センター開設（145床）内科・神経内科・脳神経外科・リハビリテーション科・整形外科
平成17年 7月	弘前脳卒中センター開設に伴い黎明郷リハビリテーション病院（103床）となる
平成23年 4月	弘前脳卒中センターと黎明郷リハビリテーションを統合し、弘前脳卒中・リハビリテーションセンターを開設（248床） 開設に伴い黎明郷リハビリテーション病院は廃止 碓ヶ関診療所（無床）を開設
平成24年 3月	碓ヶ関診療所廃止
平成25年 4月	一般財団法人へ移行



役員名簿

平成23年4月1日現在

氏 名	職業又は勤務先	区 分
保嶋 実 (理事)	財団法人黎明郷	財団法人黎明郷 理事長
今田 慶行 (理事)	財団法人黎明郷	碓ヶ関診療所 所長
中野 撃司 (理事)	青森県町村会代表	鶴田町町 (行政)
葛西 憲之 (理事)	青森県市長会代表	弘前市長 (行政)
大川 喜代治 (理事)	財団設置地域代表	平川市長 (行政)
奥村 謙 (理事)	弘前大学大学院医学研究科	循環呼吸腎臓内科学講座 教授 (医療)
長内 智宏 (理事)	弘前大学大学院医学研究科	循環呼吸腎臓内科学講座 准教授 (医療)
玉田 友一 (理事)	玉田内科医院 院長 (秀峰会代表)	(医療)
杉田 浩 (理事)	㈱青森銀行常勤監査役	(経営)
菅原 和信 (理事)	元青森大学薬学科教授	(薬学)
三浦 康久 (理事)	元青森県健康福祉部長	(行政)
佐藤 陽子 (理事)	元青森県環境生活部長	(行政)
福井 尚二 (監事)	㈱青森銀行東京支店長	
鳴海溜喜子 (監事)	税理士	

役員名簿

平成24年4月1日現在

氏名	職業又は勤務先	区分
保嶋 実 (理事)	財団法人黎明郷	財団法人黎明郷 理事長
中野 撃司 (理事)	青森県町村会代表	鶴田町長 (行政)
葛西 憲之 (理事)	青森県市長会代表	弘前市長 (行政)
大川 喜代治 (理事)	財団設置地域代表	平川市長 (行政)
奥村 謙 (理事)	弘前大学大学院医学研究科	循環呼吸腎臓内科学講座 教授 (医療)
長内 智宏 (理事)	弘前大学大学院医学研究科	循環呼吸腎臓内科学講座 准教授 (医療)
玉田 友一 (理事)	玉田内科医院 院長 (秀峰会代表)	(医療)
杉田 浩 (理事)	(株)青森銀行常勤監査役	(経営)
菅原 和信 (理事)	元青森大学薬学科教授	(薬学)
三浦 康久 (理事)	元青森県健康福祉部長	(行政)
佐藤 陽子 (理事)	元青森県環境生活部長	(行政)
福井 尚二 (監事)	(株)青森銀行取締役	
鳴海溜喜子 (監事)	税理士	

役員名簿

平成25年4月1日現在

氏名	職業又は勤務先	区分
保嶋 実 (理事)	一般財団法人黎明郷	理事長
中野 撃司 (理事)	青森県町村会代表	鶴田町長 (行政)
大川 喜代治 (理事)	老健つがる設置地域代表	平川市長 (行政)
奥村 謙 (理事)	弘前大学大学院医学研究科	循環呼吸腎臓内科学講座 教授 (医療)
長内 智宏 (理事)	弘前大学大学院医学研究科	循環呼吸腎臓内科学講座 准教授 (医療)
玉田 友一 (理事)	玉田内科医院 院長 (秀峰会代表)	(医療)
建部 礼二 (理事)	(株)青森銀行取締役 弘前地区統括	(経営)
三浦 康久 (理事)	元青森県健康福祉部長	(行政)
佐藤 陽子 (理事)	元青森県環境生活部長	(行政)
小林 正志 (理事)	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター	事務部長
小山内 秀喜 (監事)	(株)青森銀行弘前支店長	
鳴海溜喜子 (監事)	税理士	

評議員名簿

平成23年4月1日現在

氏名	職業又は勤務先	区分
吉岡 利忠	弘前学院大学 学長	教育
込山 稔	特別養護老人ホーム 弘前大清水ホーム園長	福祉
梅村 芳文	梅村病院 院長	医療（弘前市医師会）
畑山 亨	畑山医院 院長	地域医療
葛西 聡	あすなろ法律事務所 弁護士	学識経験者（法律）
奈良岡 勇造	城東地区	地域代表（福祉）
成田 久雄	小比内町会長	地域代表
保嶋 実	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 院長	医療
今田 慶行	碓ヶ関診療所 所長	医療（内科）
横山 篤	介護老人保健施設つがる 施設長	医療（介護）
松本 茂男	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 副院長	医療（リハビリ）
鳴海 道安	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 薬剤師	薬剤
三國谷 恵美子	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 看護部長	看護

評議員名簿

平成24年4月1日現在

氏 名	職業又は勤務先	区 分
吉岡 利忠	弘前学院大学 学長	教育
込山 稔	特別養護老人ホーム 弘前大清水ホーム園長	福祉
梅村 芳文	梅村医院 院長	医療（弘前市医師会）
畑山 亨	畑山医院 院長	地域医療
葛西 聡	あすなる法律事務所 弁護士	学識経験者（法律）
奈良岡 勇造	城東地区	地域代表（福祉）
成田 久雄	小比内町会長	地域代表
保嶋 実	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 院長	医療
横山 篤	介護老人保健施設つがる 施設長	医療（介護）
松本 茂男	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 副院長	医療（リハビリ）
鳴海 道安	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 薬剤師	薬剤
三國谷 恵美子	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 看護部長	看護

評議員名簿

平成25年4月1日現在

氏 名	職業又は勤務先	区 分
吉岡 利忠	弘前学院大学 学長	教育
込山 稔	特別養護老人ホーム 弘前大清水ホーム園長	福祉
梅村 芳文	梅村医院 院長	医療（弘前市医師会）
畑山 亨	畑山医院 院長	地域医療
葛西 聡	あすなろ法律事務所 弁護士	学識経験者（法律）
奈良岡 勇造	城東地区	地域代表（福祉）
久保田 安喜男	豊田地区町会連合会 会長	地域代表
横山 篤	介護老人保健施設つがる 施設長	医療（介護）
松本 茂男	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 副院長	医療（リハビリ）
鎌田 孝篤	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 副院長	医療（内科）
岩田 学	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 副院長	医療（治験・リハビリ）
三國谷 恵美子	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 看護部長	看護

職員数

職 種	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
医 師	15	16	16
薬剤師	7	8	7
診療放射線技師	5	8	7
臨床検査技師	6	7	6
作業療法士	49	55	60
理学療法士	46	52	56
言語聴覚士	11	14	10
医療相談員	7	7	7
医療部助手	1	0	1
管理栄養士	3	3	3
看護師	119	139	149
准看護師	26	23	24
看護助手	31	28	27
歯科衛生士	1	1	1
事務員	26	29	28
営繕担当	3	4	3
合 計	356	394	405

診療実績 入院患者数

		H23年度	H24年度	H25年度
延患者数(人)		83,012	80,330	76,125
病床数		248	248	248
病床稼働率(%)		91.4	88.7	84.0
平均在院日数(日)	一般病棟	14.4	15.5	14.1
	回復期病棟	54.2	62.5	61.1
新患受入件数(件)	a.救急車	674 (31.3%)	599 (27%)	649 (32.5%)
	b.直接来院	1478 (68.7%)	1620 (73%)	1345 (67.5%)
※c.救急車受入のうち入院(件)		610	523	564
(c/a)		(90.5%)	(87.3%)	(86.9%)
回復期病棟指標				
在宅復帰率		77.4%	79.7%	78.8%
新規入棟患者重症者割合〔A項目〕		-	24.9%	28.9%
新規入棟患者重症者割合〔B項目〕		42.8%	49.3%	46.9%
重症患者回復割合(退棟時)		54.1%	69.1%	65.8%
回復期病棟延患者数(人)		57,570	55,457	53,789
実施リハ単位数		343,259	359,028	367,158
一日一人当たりリハ提供単位数		5.96	6.47	6.83
脳卒中地域連携パス適用患者数(H25年9月～)		-	-	7

診療実績 検査件数

		H23年度	H24年度	H25年度
MRI		4,310	4,253	4,261
CT		3,600	3,410	3,449
超音波	頰動脈	1,256	1,224	1,226
	心臓	1,178	1,135	1,083
	経食道心臓	429	386	477
	その他	41	97	131
	合計	2,904	2,842	2,917
ABI(脈波)		1,042	956	858
ホルター心電図		1,049	1,027	936
血管造影	脳血管造影	3		16
	頭頸部血管造影			12
	心臓カテーテル検査			7
	上肢血管造影	1	1	
	CVカテ修正			1
	CVカテ挿入、交換	13	5	5
	ペースメーカー移植・交換術		3	1
	合計	17	9	42
透視下検査	嚥下造影	80	89	71
	CVカテ修正			1
	CVカテ挿入、交換	13	11	7
	イレウス管位置修正		1	
	イレウス管挿入		1	
	右胸腔トロッカーカテーテル挿入		1	
	経鼻胃管チューブ挿入	6	6	8
	上部消化管造影	66	50	5
	透視のみ	5	2	1
	合計	170	161	93
内視鏡	内視鏡下胃瘻造設術	146	73	78
	胃瘻交換	149	141	128
	S状結腸(大腸ファイバースコープ)		1	
	胃・十二指腸ファイバースコープ	60	29	18
	気管支ファイバースコープ	6		
	食道ファイバースコープ	2		
	直腸ファイバースコープ			1
	合計	363	244	225
気管切開術		7	2	4

脳ドック実績

単位:件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
25年度	—	—	—	—	—	—	1	2	0	0	3	1	7

※平成 25 年 10 月より施行

訪問看護実績

単位:件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
23年度	28	28	28	32	31	30	30	28	25	24	25	24	328
24年度	20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20

※平成 24 年 4 月をもって事業終了

訪問リハビリ実績

単位:件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
23年度	1	17	28	61	96	100	57	49	63	81	73	70	696
24年度	68	88	101	121	134	110	105	103	90	73	89	107	1189
25年度	110	133	136	169	145	151	180	194	185	168	185	190	1946

研修認定施設

	認定学会	認定期間
1	日本脳卒中学会認定教育病院	2013. 4. 1～2014. 12. 31
2	日本リハビリテーション医学会認定研修施設	2012. 4. 1～2017. 3. 31
3	日本静脈経腸栄養学会NST稼働認定施設	2014. 4. 1～2019. 3. 31
4	日本高血圧学会専門医認定施設	2012. 4. 1～2017. 3. 31
5	日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設	2013. 4. 1～2015. 3. 31

専門医数

単位：人

資 格	計
日本高血圧学会認定専門医	1
日本循環器学会認定循環器専門医	5
日本腎臓学会腎臓専門医	1
日本内科学会総合内科専門医	1
日本臨床検査医学会臨床検査専門医	1
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医	3
日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医	1
日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科専門医	2
合 計	15

治験実績

年度	内 容
平成 23 年度 1 件	虚血性脳血管障害患者を対象とした CS-747S（プラスグレル塩酸塩）の既存治療対照第Ⅲ相二重盲検比較試験
平成 24 年度 2 件	虚血性脳血管障害患者を対象とした CS-747S（プラスグレル塩酸塩）の既存治療対照第Ⅲ相二重盲検比較試験
	脳卒中後の上肢麻痺患者を対象とした HC-58 の第Ⅱ相臨床試験-プラセボを対照とした無作為化二重盲検比較試験
平成 25 年度 2 件	虚血性脳血管障害患者を対象とした CS-747S（プラスグレル塩酸塩）の既存治療対照第Ⅲ相二重盲検比較試験
	脳卒中後の上肢麻痺患者を対象とした HC-58 の第Ⅱ相臨床試験-プラセボを対照とした無作為化二重盲検比較試験

実習受入状況

平成 23 年度	医局	看護部	リハビリテーション部			栄養室	全体
			P T	O T	S T		
延件数 (単位：件)	1	15	14	12	3	0	45
延人数 (単位：人)	23	726	444	481	147	0	1821

平成 24 年度	医局	看護部	リハビリテーション部			栄養室	全体
			P T	O T	S T		
延件数 (単位：件)	2	17	20	10	5	2	56
延人数 (単位：人)	46	938	598	548	230	16	2376

平成 25 年度	医局	看護部	リハビリテーション部			栄養室	全体
			P T	O T	S T		
延件数 (単位：件)	3	18	22	11	6	1	61
延人数 (単位：人)	94	1015	581	450	230	12	2382

財団事業（寄附講座開講）
弘前大学 寄附講座
高血圧・脳卒中内科学講座開講

弘前大学寄附講座 高血圧・脳卒中内科学講座開講記念 講演会・祝賀会
開催日時：平成25年9月7日（土）18：00～
場 所：ベストウェスタンホテルニューシティ弘前

記念講演会

基調講演 『津軽地方における脳卒中救急医療の現状』

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
内科副部長 目時 典文 先生

記念講演 『脳卒中ケアユニットにおける急性期医療と医学教育の重要性』

徳島大学脳神経外科
教授 永廣 信治 先生

財団事業(青森県委託事業)
 青森県高次脳機能障害支援拠点機関
 平成23年度事業活動報告

1. 青森県高次脳機能障害者リハビリテーション講習会

開催日時：平成24年1月7日(土) 14:00～16:30

場 所：アウガ5階 AV多機能ホール(青森市男女共同参画プラザ)

参加者：207名

講演1

座長：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
 支援コーディネーター 平野 尚美 先生

『岩手県における障害支援の取り組みについて』

いわてリハビリテーションセンター
 医療社会事業士 上田 大介 先生

講演2

座長：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
 副院長 松本 茂男 先生

『生活を支える高次脳機能リハビリテーション』

独立行政法人 国立成育医療センター
 リハビリテーション科 医長 橋本 圭司 先生

2. 青森県高次脳機能障害支援普及検討委員会

開催日時：平成23年10月17日(月) 17:30

場 所：青森グランドホテル5階 アイリス

出席者：8名

案件

1. 平成22年度事業報告について
2. 平成23年度事業計画について

3. 相談内容

相談件数	相談者		
	本人	家族	その他
	3	12	21
就労支援	2	1	3
診断・治療	1	2	6
支援体制・家族会	0	3	5
その他	0	6	7

財団事業(青森県委託事業)
 青森県高次脳機能障害支援拠点機関
 平成24年度事業活動報告

1. 青森県高次脳機能障害者リハビリテーション講習会

開催日時：平成24年12月15日(土) 14:00～16:30

場 所：ウェディングプラザアラスカ 3F エメラルド

参加者：149名

講演1

座長：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
 支援コーディネーター 平野 尚美 先生

『山形県における高次脳機能障害者支援について』

講師：山形県高次脳機能障がい者支援センター
 独立行政法人 国立病院機構 山形病院
 コーディネーター 渡部 美穂 先生

講演2

座長：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
 副院長 松本 茂男 先生

『高次脳機能障害の理解と対応』

講師：東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科
 診療部長 渡邊 修 先生

2. 青森県高次脳機能障害支援普及検討委員会

開催日時：平成24年7月27日(金) 17:00

場 所：アスパム5階 夏泊

出席者：11名

案件

1. 平成23年度事業報告について
2. 平成24年度事業計画について

3. 相談内容

相談件数	相談者		
	本人	家族	その他
	7	8	11
就労支援	4	3	2
診断・治療	1	1	2
支援体制・家族会	1	2	5
その他	1	2	2

財団事業(青森県委託事業)
 青森県高次脳機能障害支援拠点機関
 平成25年度事業活動報告

1. 青森県高次脳機能障害者リハビリテーション講習会

開催日時：平成25年9月21日(土) 13:30～16:30

場 所：青森グランドホテル 2階 平安の間

参加者：139名

講演1

座長：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

副院長 松本 茂男 先生

『高次脳機能障害者に対する就労支援について』

講師：青森障害者職業センター

主任障害者職業カウンセラー 鈴木 勇 先生

講演2

座長：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

副院長 松本 茂男 先生

『高次脳機能障害者への対応

精神症状や社会的行動障害の予防と対応を中心に』

講師：東京福祉大学 社会福祉学部

教授 先崎 章 先生

2. 青森県高次脳機能障害支援普及検討委員会

開催日時：平成25年7月19日(金) 17:15

場 所：青森グランドホテル サファイア

出席者：8名

案件

1. 平成24年度事業報告について

2. 平成25年度事業計画について

3. 相談内容

相談件数	相談者		
	本人	家族	その他
	24	8	27
就労支援	3	0	1
診断・治療	9	4	20
支援体制・家族会	7	2	3
その他	5	2	3

財団事業(青森県委託事業)

青森県高齢者地域リハビリテーション支援センター

平成23年度事業活動報告

1. 広域支援センターに対する支援研修会

開催日時：平成23年10月1日(土)

場 所：青森グランドホテル

参加者：病院、老健、特養等職員113名

講演1

『多職種による転倒事故防止対策 ～当院の取り組みについて～』

医療法人社団 朋和会 西広島リハビリテーション病院

看護介護部長 杉本 真理子 先生

講演2

『回復期リハ病棟におけるチームアプローチによる転倒防止対策の取り組み

—活動性アップと重大事故防止両立への実践—』

医療法人社団 寿量会 熊本機能病院

総合リハビリテーション部 部長 渡邊 進 先生

2. 地域における関係団体及び関係医療機関との連携のための連絡調整

I. 平成23年度第1回青森県、支援センター、広域支援センター連絡会議

開催日時：平成23年9月9日(金) 15:00～16:30

場 所：アラスカ会館(青森市)

II. 平成23年度第2回青森県、支援センター、広域支援センター連絡会議

開催日時：平成24年3月16日(金) 15:00～16:30

場 所：アラスカ会館(青森市)

III. 平成23年度青森県リハビリテーション協議会(オブザーバー出席)

開催日時：平成24年3月1日(木) 13:30～15:00

場 所：青森グランドホテル

IV. 連携のための職員派遣

◆平成23年度津軽圏域第1回連絡会議

開催日時：平成23年7月5日(火) 14:00～15:00

場 所：弘前市立病院別館2階指導室

派遣職員：弘前脳卒中・リハビリテーションセンターMSW 土岐敏子

◆第8回津軽地域リハビリテーション研修会

開催日時：平成23年10月15日(土) 13:30～15:00

場 所：弘前市学習センター

派遣職員：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター地域連携室 菊池あづさ

財団事業(青森県委託事業)

青森県高齢者地域リハビリテーション支援センター

平成24年度事業活動報告

1. 広域支援センターに対する支援

平成24年度青森県高齢者地域リハビリテーション支援センター研修会

◆研修会内容

研修会テーマ：『嚥下障害へのアプローチの実際』

・講義1 嚥下障害概論

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター副院長 松本 茂男 先生

・講義2 食物形態と増粘剤について

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

リハビリテーション部技師長 三浦 順子 先生

◆ワークショップ

講師 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター言語聴覚士

- 1) 増粘剤の使用実習と嚥下食試食
- 2) 評価実習
- 3) 事例検討
- 4) 検討結果まとめ

◆第1回研修会

開催日時：平成24年7月22日（日）9：30～12：00

場 所：公済会館（むつ市）

参加人数：30名

◆第2回研修会

開催日時：平成24年12月1日（土）9：30～12：00

場 所：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター大会議室（弘前市）

参加人数：48名

◆第3回研修会

開催日時：平成25年2月9日（土）9：30～12：00

場 所：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター大会議室（弘前市）

参加人数：36名

2. 地域における関係団体及び関係医療機関との連携のための連絡調整

I. 平成24年度第1回青森県、支援センター、広域支援センター連絡会議

開催日時：平成24年12月20日（木）14：00～15：30

場 所：ウェディングプラザアラスカ（青森市）

II. 平成24年度第2回青森県、支援センター、広域支援センター連絡会議

開催日時：平成25年3月26日（火）14：00～15：30

場 所：ウェディングプラザアラスカ（青森市）

III. 平成24年度青森県リハビリテーション協議会（オブザーバー出席）

開催日時：平成24年12月11日（火）14：00～15：30

場 所：青森グランドホテル

派遣職員：財団法人黎明郷事務局長 須藤昌徳

IV. 連携のための職員派遣

平成24年度津軽圏域第1回連絡会議

開催日時：平成24年7月3日（火）14：00～15：00

場 所：弘前市立病院別館2階指導室

派遣職員：弘前脳卒中・リハビリテーションセンターMSW 土岐敏子

財団事業(青森県委託事業)

青森県高齢者等地域リハビリテーション支援センター

平成25年度事業活動報告

1. 広域支援センターに対する支援

(1) 平成25年度リハビリテーション支援センター、広域支援センター合同研修会

◆研修会内容

- ・講義1 『嚥下障害を理解するために』

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター副院長 松本 茂男 先生

- ・講義2 『嚥下障害と食物調整について』

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

リハビリテーション部技師長 三浦 順子 先生

◆ワークショップ

講師 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター言語聴覚士

- 1) 増粘剤の使用法実習と嚥下食試食
- 2) 評価実習
- 3) 事例検討
- 4) 検討結果まとめ

◆第1回研修会の開催

青森県高齢者等地域リハビリテーション支援センター、下北圏域広域支援センター合同研修会
研修会テーマ『嚥下障害へのアプローチの実際』

開催日時：平成24年7月7日（日）9：30～12：00

開催場所：公済会館（むつ市）

参加人数：50名

◆第2回研修会の開催

青森県高齢者等地域リハビリテーション支援センター、八戸圏域広域支援センター合同研修会
研修会テーマ『嚥下障害へのアプローチの実際』

開催日時：平成25年10月19日（土）13：30～16：00

開催場所：青森労災病院2階大会議室（八戸市）

参加人数：45名

◆第3回研修会の開催

青森県高齢者等地域リハビリテーション支援センター、青森圏域広域支援センター合同研修会
研修会テーマ『嚥下障害へのアプローチの実際』

開催日時：平成25年12月8日（日）9：30～12：00

開催場所：青森市民病院3階大会議室（青森市）

参加人数：51名

(2) 広域支援センターとリハビリマニュアルの共同制作

在宅・施設で行えるリハビリマニュアルNo.9 「食事援助の工夫パート2－嚥下障害と食物形態について」

2. 地域における環形団体及び関係医療機関との連携のための連絡調整

I. 平成25年度リハビリテーション支援センター、広域支援センター合同研修会

開催日時：平成25年11月19日(火)14:00～15:50

場 所：ウェディングプラザアラスカ（青森市）

II. 平成25年度第2回青森県、支援センター、広域支援センター連絡会議

開催日時：平成26年3月25日(火)

場 所：ウェディングプラザアラスカ（青森市）

財団事業(事務局)
青森県成人・老人リハビリテーション施設協会
平成23年度事業活動報告

青森県成人・老人リハビリテーション施設協会研修会

開催日時：平成24年2月17日(金) 18:00～19:30

場 所：青森県観光物産館アスパム4階十和田

参加者：病院、老健、特養等職員91名

講演1

座長：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 院長 今田 慶行 先生
『診療報酬改定の動向について』

講師：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 副院長 松本 茂男 先生

講演2

座長：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター リハビリテーション科部長 岩田 学 先生
『知っておきたい内部障害の基本的知識とリハビリテーションの効果』

講師：東北大学大学院医学研究科障害科学専攻長 教授 上月 正博 先生

財団事業(事務局)
青森県成人・老人リハビリテーション施設協会
平成24年度事業活動報告

青森県成人・老人リハビリテーション施設協会研修会

開催日時：平成25年3月8日(金) 18:00～19:30

場 所：青森県観光物産館アスパム4階十和田

参加者：病院、老健、特養等職員105名

講演1

座長：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 副院長 岩田 学 先生

『嚥下障害の基礎と対応』

講師：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 言語聴覚室長 三浦 順子 先生

講演2

座長：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 副院長 岩田 学 先生

『転倒リスク管理に関してー認知症への対応も含めてー』

講師：独立行政法人国立長寿医療研修センター 機能回復診療部長 近藤 和泉 先生

財団事業(事務局)
青森県成人・老人リハビリテーション施設協会
平成25年度事業活動報告

青森県成人・老人リハビリテーション施設協会研修会

開催日時：平成25年10月4日(金) 18:00～19:30

場 所：青森県観光物産館アスパム4階十和田

参加者：病院、老健、特養等職員100名

講演1

座長：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 副院長 岩田 学 先生

『口腔ケアの意義と方法』

講師：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 言語聴覚士 松山 哲子 先生

講演2

座長：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 副院長 岩田 学 先生

『医療・介護現場で役立つ摂食・嚥下障害のはなし』

講師：財団法人太田総合病院附属 太田熱海病院 リハビリセンター長 高橋 博達 先生

財団事業（主催）

黎明郷リハビリテーションケア勉強会

平成24年度事業活動報告

「第1回施設間勉強会」（黎明郷リハビリテーションケア勉強会）

開催日時：平成24年11月9日（金）18：15～20：00

場 所：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 2F 大会議室

1. 胃瘻用ボタン「イディアルボタン」紹介 オリンパス株式会社

2. シンポジウム

『嚥下障害の基本』

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
リハビリテーション部技師長・言語聴覚士 三浦 順子 先生

『当院のNST活動について』

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
内科副部長・医師 佐々木 都子 先生

『希望ヶ丘ホーム入所者の経管栄養の実態調査～特にIgEとの関係について～』

介護老人保健施設 希望ヶ丘ホーム
看護師 成田 さつ子 先生

『在宅の立場から嚥下障害と栄養管理のトラブルについて考える』

訪問看護ステーション ことぶき
所長 佐藤 ゆきゑ 先生

3. ディスカッション

コーディネーター

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
副院長 岩田 学 先生

財団事業（主催）

黎明郷リハビリテーションケア勉強会

平成25年度事業活動報告

1. 「第2回施設間勉強会」（黎明郷リハビリテーションケア勉強会）

開催日時：平成25年7月6日（土） 13：30～15：30

場 所：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 2F大会議室

（1）シンポジウム

テーマ『高齢者及び医療依存度の高い患者が住み慣れた地域で暮らしていく為に』

『回復期病棟の立場から』

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
回復期病棟看護師 加藤 早苗 先生

『老人福祉施設の立場から』

社会福祉法人 弘前愛成園 特別養護老人ホーム 弘前静光園
主任看護師 葛西 砂織 先生

『ケアマネジャーの立場から』

医療法人 ときわ会 居宅介護支援事業所
主任ケアマネジャー 有馬 セツエ 先生

『在宅の立場から』

エコール訪問看護ステーション
訪問看護師 山口 由美子 先生

（2）ディスカッション

コーディネーター

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
副院長 岩田 学 先生

2. 黎明郷リハビリテーションケア勉強会（施設間勉強会より改称）

開催日時：平成25年10月25日（土） 18：30～20：00

場 所：弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 2F大会議室

テーマ『移乗介助方法を見直そう！～持ち上げない移乗介助動作～』

1) 講義『立ち上がりの基本』

「自立へとつなげる介助方法」

「介助者自身を守る介助方法」

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター
リハビリテーションスタッフ

2) 演習『移乗動作のロールプレイ』

グループに分かれて、介助する側だけでなく介助される側を体験

学術報告

発表一覧 2011(国際学会)

	年 月 日	学会・研究会名	発表演題	主演者名
1	平成 23 年 11 月 12 日 ～ 11 月 17 日	XXth World Congress of Neurology	Aphasia Due to Right-Hemisphere Lesion in Stroke Patients	今田 慶行

発表一覧 2011(全国学会)

	年 月 日	学会・研究会名	発表演題	主演者名
1	平成 23 年 5 月 18 日 ～ 5 月 20 日	第 52 回日本神経学会学 術大会	超急性期脳虚血における NWCT 低吸収の出現	内沢 隆充
2	平成 23 年 5 月 27 日 ～ 5 月 29 日	第 46 回日本理学療法学 術大会	若年女性および高齢女性の骨盤 底筋機能と腹圧性尿失禁の関連	森 奈津子
3	平成 23 年 6 月 24 日 ～ 6 月 26 日	第 45 回日本作業療法学 会	非利き手での箸操作中における近 位箸のずれの大きさと箸操作への 印象との関係	金谷 圭子
4	平成 23 年 6 月 24 日 ～ 6 月 26 日	第 45 回日本作業療法学 会	回復期脳卒中患者の痛みの有無 が健康関連 QOL に与える影響	今井 寛人
5	平成 23 年 6 月 24 日 ～ 6 月 26 日	第 45 回日本作業療法学 会	軽度脳卒中片麻痺患者の健康関 連 QOL に差を生む要因の検討	佐藤 真央
6	平成 23 年 7 月 29 日 ～ 8 月 1 日	第 40 回日本脳卒中の外 科学会	超急性期脳虚血における NWCT 低呼吸の出現頻度	内沢 隆充
7	平成 23 年 7 月 30 日 ～ 8 月 1 日	第 36 回日本脳卒中学会 総会	当院における脳卒中胃瘻増設患 者に関する検討	今田 慶行
8	平成 23 年 7 月 30 日 ～ 8 月 1 日	第 36 回日本脳卒中学会 総会	血管・病型別 t-PA 静注療法の効 果と限界	目時 典文
9	平成 23 年 7 月 30 日 ～ 8 月 1 日	第 36 回日本脳卒中学会 総会	非心原性脳梗塞急性期におけるシ ロスタゾール投与後の脈拍数の推 移の検討	目時 典文
10	平成 23 年 7 月 30 日 ～ 8 月 1 日	第 36 回日本脳卒中学会 総会	脳卒中患者における肺血栓栓 症の頻度と特徴	萩井 譲士
11	平成 23 年 7 月 30 日 ～ 8 月 1 日	第 36 回日本脳卒中学会 総会	発作性心房細動による心原性脳塞 栓例の左心房機能の特徴:持続性 心房細動との比較	萩井 譲士
12	平成 23 年 9 月 2 日	第 20 回日本意識障害学 会総会	意識障害患者における摂食・嚥下 障害へのチームでの取り組み	一戸 哲子
13	平成 23 年 10 月 1 日 ～ 10 月 2 日	第 21 回日本医療薬学会 年会	非心原性脳梗塞におけるシロスタ ゾール投与後の脈拍数推移の検 討	蝦名 範嗣

14	平成 23 年 10 月 27 日 ～ 10 月 29 日	リハビリテーション・ケア合 同研究大会くまもと 2011	365 日リハ体制に対するスタッフの 意識調査	鳴海 恵理
15	平成 23 年 10 月 27 日 ～ 10 月 29 日	リハビリテーション・ケア合 同研究大会くまもと 2011	慢性期片麻痺上肢への促通反復 療法を行い上肢使用の改善を認め た一例	田中 秀一
16	平成 23 年 10 月 27 日 ～ 10 月 29 日	リハビリテーション・ケア合 同研究大会くまもと 2011	シェイカーを使用したトロミ剤溶解 に関する検討	北川 大輔
17	平成 23 年 10 月 27 日 ～ 10 月 29 日	リハビリテーション・ケア合 同研究大会くまもと 2011	食物選択により経口摂取が可能と なった一症例	阿部 麻菜美
18	平成 23 年 10 月 27 日 ～ 10 月 29 日	リハビリテーション・ケア合 同研究大会くまもと 2011	経鼻経管栄養での自宅退院支援 について	土岐 敏子
19	平成 23 年 11 月 2 日 ～ 11 月 3 日	第 48 回日本リハビリテー ション医学会学術集会	脳卒中片麻痺患者における筋パワ ーと運動能力の縦断的調査	岩田 学
20	平成 24 年 2 月 4 日 ～ 2 月 5 日	全国回復期リハビリテーシ ョン病棟連絡協議会第 19 回研究大会 in 京都	当院を退院後施設入所した患者の 入所後の動向と ADL 状況	宇佐美 夏希
21	平成 24 年 2 月 4 日 ～ 2 月 5 日	全国回復期リハビリテーシ ョン病棟連絡協議会第 19 回研究大会 in 京都	摂食・嚥下障害に対するチームア プローチ	川村 恭子
22	平成 24 年 2 月 4 日 ～ 2 月 5 日	全国回復期リハビリテーシ ョン病棟連絡協議会第 19 回研究大会 in 京都	服薬自己管理の実態調査と管理 基準の設定	伊藤 光沙
23	平成 24 年 2 月 23 日 ～ 2 月 25 日	第 27 回日本静脈経腸栄 養学会	急性期脳卒中患者における GFO 療法に関する検討	鳥谷部 翔
24	平成 24 年 2 月 23 日 ～ 2 月 25 日	第 27 回日本静脈経腸栄 養学会	NST サポート加算前後の経管栄養 者の栄養状態に関する検討	吉澤 佳子
25	平成 24 年 2 月 23 日 ～ 2 月 25 日	第 27 回日本静脈経腸栄 養学会	脳卒中急性期病棟における体重 測定取り組みと栄養管理	今井 真子
26	平成 24 年 2 月 25 日	第 3 回日本ニューロリハビ リテーション学会学術集会	手背皮膚温差による脳卒中後 CRPS の発症予測	岩田 学
27	平成 24 年 3 月 1 日 ～ 3 月 3 日	第 35 回日本脳神経 CI 学 会	MS-EXCEL による頭部 CT 画像の 表示と分析—NWCT 画像のカラー 化の試み	内沢 隆充
28	平成 24 年 3 月 17 日 ～ 3 月 18 日	第 76 回日本循環器学会 学術集会	Severity of Hemorrhagic Stroke in Patients with Prior Warfarin Therapy:Comparison with Those without Warfarin Therapy	萩井 譲士

発表一覧 2011(地方会)

年月日	学会・研究会名	発表演題	主演者名
1 平成 23 年 12 月 3 日	第 153 回日本循環器学会 東北地方会	慢性の下痢を主訴とした特発性肺 動脈性肺高血圧症の一例	金城 貴彦

発表一覧 2011(県学会)

年月日	学会・研究会名	発表演題	主演者名
1 平成 23 年 5 月 14 日 ～ 5 月 15 日	第 24 回青森県作業療法 学会	観念失行症状に対して、視覚情報 を用いることで入浴動作に改善が みられた一例	佐々木 絵里
2 平成 23 年 6 月 19 日	第 35 回青森県理学療法 士学会	急性期脳卒中患者の退院時歩行 自立度に対する予後予測	奈川 英美
3 平成 23 年 6 月 19 日	第 35 回青森県理学療法 士学会	回復期病棟における転倒シミュレ ーション実施報告～第 1 報～	小山 裕美

発表一覧 2012(国際学会)

年月日	学会・研究会名	発表演題	主演者名
平成 24 年 10 月 3 日 ～ 10 月 6 日	The 5th Asia-Pacific Heart Rhythm Society Scientific Session (APHRS2012)	Clinical Features of Lethal Ventricular tachyarrhythmias Appearing after Cardiac Resynchronization Therapy	石田 祐司

発表一覧 2012(全国学会)

年月日	学会・研究会名	発表演題	主演者名
平成 24 年 4 月 25 日 ～ 4 月 28 日	第 37 回日本脳卒中学会 総会	NWCT 画像のカラー化による超急性期脳虚血域の視認性の向上	内沢 隆充
平成 24 年 4 月 25 日 ～ 4 月 28 日	第 37 回日本脳卒中学会 総会	新規抗凝固薬による心原性脳塞栓症の 2 次予防:その現状と問題点	萩井 謙士
平成 24 年 4 月 25 日 ～ 4 月 28 日	第 37 回日本脳卒中学会 総会	心原性脳塞栓症中大脳動脈閉塞に対する t-PA 静注療法後の再開通状況と NIHSS 推移の検討	目時 典文
平成 24 年 5 月 22 日 ～ 5 月 25 日	第 53 回日本神経学会学 術大会	NWCT のカラー化と超急性期脳虚血所見	内沢 隆充
平成 24 年 5 月 25 日 ～ 5 月 27 日	第 47 回日本理学療法学 術大会	中高齢女性の尿失禁と静的立位アラメントの関連について	森 奈津子
平成 24 年 5 月 30 日 ～ 6 月 2 日	第 49 回日本リハビリテーシ ョン医学会学術集会	ビタミン C は脳卒中後複合性局所疼痛症候群に対して発症予防効果をもつかー比較臨床試験ー	岩田 学
平成 24 年 6 月 15 日 ～ 6 月 17 日	第 46 回日本作業療法学 会	軽度脳卒中片麻痺患者の身体的健康度に影響を与える要因の検討	佐藤 真央
平成 24 年 6 月 15 日 ～ 6 月 17 日	第 46 回日本作業療法学 会	回復期脳卒中患者の各種症状と SF-36 サマリースコアの関係	清水 寛己
平成 24 年 6 月 15 日 ～ 6 月 17 日	第 46 回日本作業療法学 会	半側空間無視を呈した症例に対する姿勢調節能力と認知機能の関係からの考察	小野 聡子
平成 24 年 6 月 15 日 ～ 6 月 17 日	第 46 回日本作業療法学 会	非利き手での箸操作中における近位箸のずれを抑制することが箸操作への印象に及ぼす影響	金谷 圭子
平成 24 年 8 月 31 日 ～ 9 月 1 日	第 17 回・第 18 回共催日本摂食・嚥下リハビリテーシ ョン学会学術大会	当院における口腔ケアワーキングチームの取り組み	松山 哲子
平成 24 年 9 月 15 日 ～ 9 月 16 日	第 6 回腎臓病薬物療法学 会学術集会・総会 2012	脳卒中センターにおけるダビガトランの薬剤師による有効性と安全性の評価	鳥谷部 翔

13	平成 24 年 9 月 20 日 ～ 9 月 22 日	第 35 回日本高血圧学会 総会高血圧 Up-to-Date3	RA 系抑制薬の降圧療法における 最近の話題	保嶋 実
14	平成 24 年 10 月 11 日 ～ 10 月 13 日	第 32 回日本核医学技術 学会総会学術大会	%uptake 値・スコア評価に及ぼす心 基部側設定範囲の影響について の検討	吉岡 沙伊子
15	平成 24 年 10 月 11 日 ～ 10 月 13 日	リハビリテーション・ケア合 同研究大会札幌 2012	看護師のキャリアアップに対する意 識調査	小田桐 千代
16	平成 24 年 10 月 11 日 ～ 10 月 13 日	リハビリテーション・ケア合 同研究大会札幌 2012	職場ストレスサー・ストレス反応尺度 による一般病棟と回復期病棟のスト レス調査	三上 知彦
17	平成 24 年 10 月 11 日 ～ 10 月 13 日	リハビリテーション・ケア合 同研究大会札幌 2012	脳卒中片麻痺患者が片手でできる 義歯洗浄の工夫～爪ブラシと吸盤 つきマットを用いた方法～	三上 奈月
18	平成 24 年 10 月 11 日 ～ 10 月 13 日	リハビリテーション・ケア合 同研究大会札幌 2012	全般的認知機能と嚥下機能の関 係	阿部 麻菜美
19	平成 24 年 10 月 17 日 ～ 10 月 19 日	第 71 回日本脳神経外科 学会	超急性期脳虚血における NWCT 所見と tPA の効果	内沢 隆充
20	平成 24 年 10 月 27 日 ～ 10 月 28 日	第 22 回日本医療薬学会 年会	弘前脳卒中・リハビリテーションセ ンターにおける開院からの細菌検 出動向調査	蝦名 範嗣
21	平成 24 年 10 月 27 日 ～ 10 月 28 日	第 22 回日本医療薬学会 年会	弘前脳卒中・リハビリテーションセ ンターにおける MEPM 適正使用調 査	倉内 寿孝
22	平成 24 年 10 月 27 日 ～ 10 月 28 日	第 22 回日本医療薬学会 年会	抗菌薬適正使用に向けたアンチバ イオグラムの作成と感受性状況	久米田 一喜
23	平成 24 年 11 月 10 日 ～ 11 月 11 日	第 28 回日本義肢装具学 会学術大会(名古屋)	当院における脳卒中下肢装具の 処方動向と障害度の検討	松本 茂男
24	平成 24 年 11 月 22 日 ～ 11 月 24 日	第 36 回日本高次脳機能 障害学会・セミナー	失語症患者の書字分析の試み	池上 友紀子
25	平成 25 年 2 月 22 日 ～ 2 月 23 日	第 36 回日本脳神経 CI 学 会総会	cNWCT(colorized Narrow Window Computed Tomography)の応用	内沢 隆充
26	平成 25 年 2 月 22 日 ～ 2 月 24 日	第 5 回植込みデバイス関 連冬季大会	頻脈性心房細動に対するショック 送込後に出現した心内電位波形の 変化により頻回の不適切作動が生 じた 1 例	石田 祐司
27	平成 25 年 3 月 1 日 ～ 3 月 2 日	全国回復期リハビリテーシ ョン病棟連絡協議会 第 21 回研究大会 in 金沢	排泄プロジェクトチームの活動報告	庄司 由美子

28	平成 25 年 3 月 1 日 ～ 3 月 2 日	全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会 第 21 回研究大会 in 金沢	回復期リハ病棟での目標達成にむけた意識調査～セラピスト 10 カ条をもとにしたアンケートを用いて～	山本 賢雅
29	平成 25 年 3 月 1 日 ～ 3 月 2 日	全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会 第 21 回研究大会 in 金沢	脳卒中片麻痺患者におけるトイレ動作自立に関連する要因について	鈴木 直人
30	平成 25 年 3 月 1 日 ～ 3 月 2 日	全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会 第 21 回研究大会 in 金沢	当院リハスタッフに対する「セラピスト 10 カ条」を用いたアンケート調査～現状と今後の課題について～	算用子 暁美
31	平成 25 年 3 月 1 日 ～ 3 月 2 日	全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会 第 21 回研究大会 in 金沢	業務改善のためのリハビリテーションスタッフへの意識調査	三浦 順子
32	平成 25 年 3 月 1 日 ～ 3 月 2 日	全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会 第 21 回研究大会 in 金沢	ADL 能力別にみた介護力と退院先との関連性	阿倍 真奈美
33	平成 25 年 3 月 21 日 ～ 3 月 23 日	第 38 回日本脳卒中学会総会	脳卒中急性期におけるうつ状態の合併頻度	成田 幸英
34	平成 25 年 3 月 21 日 ～ 3 月 23 日	第 38 回日本脳卒中学会総会	外来看護師による脳卒中救急患者トリアージ	三上 小夜香
35	平成 25 年 3 月 21 日 ～ 3 月 23 日	第 38 回日本脳卒中学会総会	Rivaroxaban による心原性脳塞栓の 2 次予防の安全性:Prothrombin time による検討	萩井 譲士
36	平成 25 年 3 月 21 日 ～ 3 月 23 日	第 38 回日本脳卒中学会総会	脳梗塞患者の入院日数と転帰に影響する因子の検討	鈴木 晃子
37	平成 25 年 3 月 21 日 ～ 3 月 23 日	第 38 回日本脳卒中学会総会	脳梗塞発症 1 週間以内の神経学的兆候の悪化に影響を与える因子についての検討	鈴木 晃子
38	平成 25 年 3 月 21 日 ～ 3 月 23 日	第 38 回日本脳卒中学会総会	cNWCT の MDD と NIHSS からみた Penumbra	内沢 隆充

発表一覧 2012(地方学会)

	年 月 日	学会・研究会名	発表演題	主演者名
1	平成 24 年 11 月 17 日 ～ 11 月 18 日	第 30 回東北理学療法学 術大会	姿勢変化による足底接地状況の変 化と運動能力との関連	葛西 文寿
2	平成 24 年 12 月 8 日 ～ 12 月 9 日	日本超音波検査学会東北 第 16 回地方会学術集会	頸動脈病変の経過観察中にみら れた不安定プラーク破綻の一例	乗上 綾子

発表一覧 2012(県学会)

	年 月 日	学会・研究会名	発表演題	主演者名
1	平成 25 年 1 月 25 日	第 150 回弘前医学会例会	急性心不全で発症多彩な臨床所 見を呈した心サルコイドーシスの一 例	西崎 公貴

発表一覧 2013(全国学会)

	年 月 日	学会・研究会名	発表演題	主演者名
1	平成 25 年 5 月 24 日 ～ 5 月 26 日	第 48 回日本理学療法学術大会	在宅における運動プログラム継続に対するセルフ・エフィカシーへの介入の影響－第 1 報－	安藤 道晴
2	平成 25 年 5 月 24 日 ～ 5 月 26 日	第 48 回日本理学療法学術大会	脳卒中患者に対する歩容評価表の信頼性と相互互換性について	奈川 英美
3	平成 25 年 6 月 12 日 ～ 6 月 15 日	第 50 回日本リハビリテーション医学会学術集会	皮膚温測定による脳卒中後肩手症候群の発症予測	岩田 学
4	平成 25 年 6 月 22 日 ～ 6 月 23 日	第 10 回日本口腔ケア学会総会・学術大会	当院の口腔ケアワーキンググループの活動内容報告	阿部 麻菜美
5	平成 25 年 6 月 28 日 ～ 6 月 30 日	第 47 回日本作業療学会	脳卒中後抑うつ症状改善のための運動麻痺に対する訓練目標値の検討	佐藤 ちひろ
6	平成 25 年 6 月 28 日 ～ 6 月 30 日	第 47 回日本作業療学会	回復期脳卒中片麻痺患者における睡眠障害に関する要因の検討	今井 寛人
7	平成 25 年 6 月 28 日 ～ 6 月 30 日	第 47 回日本作業療学会	軽度脳卒中片麻痺患者の精神的健康度に影響を与える要因の検討	清水 寛己
8	平成 25 年 6 月 28 日 ～ 6 月 30 日	第 47 回日本作業療学会	普通箸の操作獲得に至る訓練の段階付けとして自助具の使用は有効か	鈴木 直人
9	平成 25 年 7 月 13 日	第 19 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会	心原性脳塞栓症の治療と予防－新規抗凝固薬への期待－	目時 典文
10	平成 25 年 7 月 26 日 ～ 7 月 27 日	第 22 回日本意識障害学会	脳卒中回復期リハビリテーション看護における苦痛緩和の援助	須藤 みつ子
11	平成 25 年 7 月 26 日 ～ 7 月 27 日	第 22 回日本意識障害学会	外来看護師による脳卒中救急患者トリアージ	三上 小夜香
12	平成 25 年 9 月 13 日 ～ 9 月 14 日	第 44 回日本看護学会(平成 25 年度)看護総合	一般病棟・回復期病棟の看護師のストレスの相違	岡崎 聡子
13	平成 25 年 9 月 21 日 ～ 9 月 23 日	第 19 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会	青森県の嚥下食の実態と調査－後方施設へのアンケート結果から－	藤田 幸江
14	平成 25 年 10 月 5 日 ～ 10 月 6 日	第 7 回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会 2013	当院におけるダビガトラン及びリバーロキサバンの低用量投与に関する有効性と安全性の検討	鳥谷部 翔
15	平成 25 年 10 月 16 日 ～ 10 月 18 日	日本脳神経外科学会第 72 回学術総会	cNWCT で認められる脳圧迫所見	内沢 隆充

16	平成 25 年 10 月 24 日 ～ 10 月 25 日	第 44 回日本看護学会学 術集会－成人看護 I－	脳卒中急性期におけるうつ傾向と 認知機能低下との関係性	成田 幸英
17	平成 25 年 10 月 26 日 ～ 10 月 27 日	第 29 回日本義肢装具学 会学術大会	当院における脳卒中下肢装具の 処方動向と障害度についての検討 (第 2 報)	松本 茂男
18	平成 25 年 11 月 22 日 ～ 11 月 23 日	リハビリテーション・ケア合 同研究大会千葉 2013	当院を退院した患者様の”困って いること”から見えてきた入院リハの 課題～当院訪問リハスタッフの情 報提供から～	泉谷 愛美
19	平成 25 年 11 月 22 日 ～ 11 月 23 日	リハビリテーション・ケア合 同研究大会千葉 2013	当院におけるリハビリテーション効 率に関連する要因-入院形態の違 いによる FIM 効率の検討-	今井 寛人
20	平成 25 年 11 月 22 日 ～ 11 月 23 日	リハビリテーション・ケア合 同研究大会千葉 2013	脳卒中患者における転倒・転落に 関する検討	阿部 麻菜美
21	平成 25 年 11 月 22 日 ～ 11 月 23 日	リハビリテーション・ケア合 同研究大会千葉 2013	不安要素を多く抱えた症例への MSW の関わり	成田 笑美
22	平成 25 年 11 月 29 日 ～ 12 月 1 日	第 37 回日本高次脳機能 障害学会学術総会	脳卒中後の意欲の低下とうつにつ いて	池上 友紀子
23	平成 26 年 2 月 7 日 ～ 2 月 8 日	一般社団法人回復期リハ ビリテーション病棟協会第 23 回研究大会 in 名古屋	回復期病棟における「している ADL の向上を図る」ための意識調 査(第 1 報)～病棟スタッフの排泄 についての介助方法と情報交換に ついて	山本 賢雅
24	平成 26 年 2 月 7 日 ～ 2 月 8 日	一般社団法人回復期リハ ビリテーション病棟協会第 23 回研究大会 in 名古屋	365 日リハ体に対するスタッフの意 識調査(第二報)	佐藤 翔
25	平成 26 年 2 月 7 日 ～ 2 月 8 日	一般社団法人回復期リハ ビリテーション病棟協会第 23 回研究大会 in 名古屋	ケアマネジャー等への理学・作業 療法情報提供書の作成指導の取り 組み～その成果と今後の課題につ いて～	算用子 暁美
26	平成 26 年 2 月 7 日 ～ 2 月 8 日	一般社団法人回復期リハ ビリテーション病棟協会第 23 回研究大会 in 名古屋	回復期病棟における「している ADL の向上を図る」ための意識調 査(第 2 報)～排泄チェックリストを 導入して～	渡部 清寛
27	平成 26 年 2 月 7 日 ～ 2 月 8 日	一般社団法人回復期リハ ビリテーション病棟協会第 23 回研究大会 in 名古屋	リハビリテーション部門での教育研 修委員会の取り組み	池上 友紀子
28	平成 26 年 2 月 27 日 ～ 2 月 28 日	第 29 回日本静脈経腸栄 養学会学術集会	当院における最近 2 年間の嚥下障 害患者の動向～胃瘻造設例を中 心に～	佐々木 都子

29	平成 26 年 2 月 27 日 ～ 2 月 28 日	第 29 回日本静脈経腸栄養学会学術集会	脳卒中後の肩手症候群における低用量ステロイド療法と体重変化との関連	鳥谷部 翔
30	平成 26 年 2 月 27 日 ～ 2 月 28 日	第 29 回日本静脈経腸栄養学会学術集会	病態別栄養剤グルセルナ-Ex 使用における血糖コントロールの有用性について	鳴海 悦子
31	平成 26 年 2 月 28 日 ～ 3 月 1 日	第 37 回日本脳神経 CI 学会総会	脳実質の CT 値はヘモグロビン濃度・ヘマトクリット値と相関し、脳血液量を示す。	内沢 隆充
32	平成 26 年 3 月 13 日 ～ 3 月 15 日	第 39 回日本脳卒中学会総会	新規抗凝固薬服用中の脳出血および心原性脳塞栓症発症例の臨床的特徴	萩井 譲士
33	平成 26 年 3 月 13 日 ～ 3 月 15 日	第 39 回日本脳卒中学会総会	リバーロキサバン服用後の抗 Xa 活性とプロトロンビン時間の推移の検討:トラフ値の意義	萩井 譲士
34	平成 26 年 3 月 13 日 ～ 3 月 15 日	第 39 回日本脳卒中学会総会	心原性脳塞栓症の重症度の年次推移	目時 典文
35	平成 26 年 3 月 13 日 ～ 3 月 15 日	第 39 回日本脳卒中学会総会	経食道超音波検査におけるモヤモヤエコーの検出は発作性心房細動に起因する心原性塞栓症の診断に有用である	齋藤 新
36	平成 26 年 3 月 13 日 ～ 3 月 15 日	第 39 回日本脳卒中学会総会	内頸または中大脳動脈狭窄を伴うアテローム血栓性脳梗塞の症状増悪要因の検討	白戸 弘志
37	平成 26 年 3 月 13 日 ～ 3 月 15 日	第 39 回日本脳卒中学会総会	脳卒中急性期における摂食障害と認知症の関係について	谷川 千佳
38	平成 26 年 3 月 13 日 ～ 3 月 15 日	第 39 回日本脳卒中学会総会	「脳卒中教室」の教育効果に関する検討	佐々木 有沙
39	平成 26 年 3 月 13 日 ～ 3 月 15 日	第 39 回日本脳卒中学会総会	脳卒中発症後早期受診に至らない理由	工藤 くみ
40	平成 26 年 3 月 21 日 ～ 3 月 23 日	第 43 回日本神経放射線学会	頭部単純 CT 画像による脳血液量の評価 Estimation of the Cerebral Blood Volume using the Cerebral Non-contrast Computed Tomographic Image	内沢 隆充

発表一覧 2013(地方学会)

	年 月 日	学会・研究会名	発表演題	主演者名
1	平成 25 年 11 月 30 日 ～ 12 月 1 日	第 31 回東北理学療法学 術大会	脳卒中患者の包括的バランス能力 に関する病期別検討について	村上 緑
2	平成 25 年 11 月 30 日 ～ 12 月 1 日	第 31 回東北理学療法学 術大会	脳卒中患者の歩行自立決定因に 関する病期別検討	齋藤 成美
3	平成 25 年 11 月 30 日 ～ 12 月 1 日	第 31 回東北理学療法学 術大会	脳卒中患者に対する歩行観察の 信頼性～経験年数による検討～	奈川 英美

発表一覧 2013(県学会)

	年 月 日	学会・研究会名	発表演題	主演者名
1	平成 25 年 5 月 11 日 ～ 5 月 12 日	第 26 回青森県作業療法 学会	一症例による促通反復療法の効果 の検討	椎名 滝太
2	平成 25 年 6 月 1 日 ～ 6 月 2 日	第 37 回青森県理学療法 士学会	脳卒中患者に対する歩容評価表 の信頼性について	奈川 英美

発表一覧 2011(研究会)

	年 月 日	学会・研究会名	発表演題	主演者名
1	平成 23 年 6 月 17 日	第 13 回弘前脳卒中治療カンファランス	津軽地区の脳卒中医療の現状と課題	今田 慶行
2	平成 23 年 8 月 21 日	第 13 回青森継続看護研究集会	言語聴覚士の立場から	平野 尚美
3	平成 23 年 10 月 15 日	第 8 回津軽地域リハビリテーション研修会	回復期リハビリテーションを担う病院の連携について	菊池 あづさ
4	平成 23 年 11 月 6 日	青森県病院薬剤師会平成 23 年度会員研究発表会並びに学術講演会	酸化マグネシウム製剤による短期間での血清マグネシウム値の変動と副作用を未然に防ぐための腎機能別に見る適正負荷量の検討	鳥谷部 翔
5	平成 23 年 12 月 17 日	平成 23 年度津軽支部・西北五支部合同症例検討会	脳出血により右片麻痺を呈した症例～歩行獲得を目指して～	岩渕 成美
6	平成 23 年 12 月 17 日	平成 23 年度津軽支部・西北五支部合同症例検討会	脳出血により左片麻痺を呈した症例～立位バランス能力の向上を目指して～	小向 雅哉
7	平成 23 年 12 月 17 日	平成 23 年度津軽支部・西北五支部合同症例検討会	装具作製の検討～自作装具と比較して～	鈴木 遼
8	平成 23 年 12 月 17 日	平成 23 年度津軽支部・西北五支部合同症例検討会	脳出血により左片麻痺を呈した症例～屋内外歩行自立へのアプローチ～	鳴海 正紀
9	平成 23 年 12 月 17 日	平成 23 年度津軽支部・西北五支部合同症例検討会	歩容改善にあたって学んだこと	熊野 宏希
10	平成 23 年 12 月 17 日	平成 23 年度津軽支部・西北五支部合同症例検討会	高次脳機能障害を有した左片麻痺の症例	原子 由
11	平成 24 年 3 月 24 日	第 10 回青森県脳卒中フォーラム	ワルファリン療法中に発症した脳出血の重症度	萩井 譲士
12	平成 24 年 3 月 24 日	第 10 回青森県脳卒中フォーラム	脳卒中急性期におけるうつ合併頻度	成田 幸英

発表一覧 2012(研究会)

年 月 日	学会・研究会名	発表演題	主演者名
1 平成 24 年 8 月 26 日	第 14 回青森継続看護研究集会	脳卒中回復期リハビリテーション看護における意識障害患者への緩和ケアの実践	須藤 みつ子

発表一覧 2011(依頼講演)

年月日	学会・研究会名	発表演題	主演者名
1 平成 23 年 5 月 22 日 ～ 5 月 23 日	秋田大学医学部附属病院 中央検査部創立 40 周年 記念公開シンポジウム	高血圧、リハビリテーションそして臨 床検査－38年間の大学生生活を振り 返って－	保嶋 実
2 平成 23 年 7 月 22 日	北五医師会第 472 回集談 会	脳梗塞の治療と診断－弘前脳卒 中・リハビリテーションセンターの現 状－	今田 慶行
3 平成 23 年 7 月 22 日	北五医師会第 472 回集談 会	脳卒中のリハビリテーション－最近 の動向とリハシステム－	松本 茂男
4 平成 23 年 7 月 22 日	北五医師会第 472 回集談 会	嚥下障害のリハビリテーション	松山 哲子
5 平成 23 年 8 月 29 日	西北五地区脳卒中セミナー －(サノフィ・アベンティス)	脳梗塞の治療について	目時 典文
6 平成 23 年 9 月 2 日	第 3 回 Acute Stroke セミ ナー(田辺三菱製薬)	脳卒中診療における内科医の挑 戦と課題	目時 典文
7 平成 23 年 9 月 13 日	消化器専門医のための循 環器セミナー(第一三共)	脳梗塞治療における抗凝固療法 の現状とこれから	目時 典文
8 平成 23 年 9 月 27 日	平成 23 年度地域・家族介 護講座(青森県介護実習・ 普及センター)	「食事介助と誤嚥防止」嚥下の仕 組み、食事介助の実際	三浦 順子
9 平成 23 年 11 月 10 日	ストップ! NO 卒中 2011in 弘前(社団法人日本脳卒 中協会)	脳梗塞救急とt-PA 治療の実際	目時 典文
10 平成 23 年 11 月 12 日	交通事故被害者生活支援 教育研修会(青森県医療 ソーシャルワーカー協会)	青森県における交通事故被害者 支援の事例・社会資源について	平野 尚美
11 平成 23 年 11 月 15 日	医療トピックス勉強会(ノバ アルティスファーマ)	心原性脳塞栓症の診断・治療およ び予防について	萩井 譲士
12 平成 23 年 11 月 16 日	抗凝固療法 Update 学術 講演会(日本ベーリンガー インゲルハイム)	心原性脳塞栓症の治療	目時 典文
13 平成 23 年 11 月 25 日	平成 23 年度・第 37 回医 師・検査技師卒後教育研 修会(青森県医師会)	臨床検査の動向と話題	保嶋 実
14 平成 23 年 11 月 25 日	弘前大学大学院保健学研 究科進路ガイダンス	卒業後の進路を考える上でのポイ ント	森 奈津子

15	平成 23 年 11 月 26 日	日本病院薬剤師会東北ブロック第 1 回学術大会スイーツセミナー2	脳梗塞治療の実際～病棟は薬剤師を求めている！～	目時 典文
16	平成 23 年 12 月 10 日 ～ 12 月 11 日	平成 23 年度訪問リハビリテーション研究会スキルアップ研修会	パネルディスカッション:医療保険リハと介護保険リハとの連携について	長谷川 国俊
17	平成 24 年 1 月 14 日	日医生涯教育講座(弘前市医師会)	高血圧、リハビリテーションそして臨床検査－38年間の大学生生活を振り返って－	保嶋 実
18	平成 24 年 1 月 19 日	東北女子大学生活科講演	摂食・嚥下障害について	三浦 順子
19	平成 24 年 1 月 20 日	大鰐町介護支援専門員情報交換会	住宅改修の視点～高齢者と脳卒中後遺症患者を対象として～	藤田 由香
20	平成 24 年 2 月 3 日	脳卒中 Care Network Meeting(日本ベーリンガーインゲルハイム)	心原性脳塞栓症の診断と治療	萩井 譲士
21	平成 24 年 2 月 10 日	臨床講座(日本ベーリンガーインゲルハイム)	心原性脳塞栓症の診断と治療	萩井 譲士
22	平成 24 年 2 月 17 日	平成 23 年度青森県成人・老人リハビリテーション施設協会研修会	診療報酬改定の動向について	松本 茂男
23	平成 24 年 2 月 18 日	青森県栄養士会研究教育栄養士協議会研修会	嚥下障害食～言語聴覚士からの提言～	三浦 順子
24	平成 24 年 3 月 10 日	弘前大企画「よくわかる脳卒中」第 6 回講演会	脳卒中は後遺症がつらい！急性期からの回復期リハビリ	岩田 学

発表一覧 2012(依頼講演)

	年 月 日	学会・研究会名	発表演題	主演者名
1	平成 24 年 5 月 9 日	東部公民館の出前講座	脳梗塞および脳溢血の予防について	目時 典文
2	平成 24 年 5 月 27 日	抗凝固療法に関する座談会(バイエル薬品)	抗凝固療法における新しい展開ーAF 患者の医療連携における第 Xa 因子阻害薬の役割ー	目時 典文
3	平成 24 年 6 月 21 日	ストップ!NO 卒中プロジェクト全国一斉エリア会議(社団法人日本脳卒中協会、ファイザー)	当院における患者受入れ体制と再発予防への取組み	目時 典文
4	平成 24 年 7 月 3 日	平成 24 年度津軽圏地域域リハビリテーション広域支援センター連絡協議会	津軽圏域における訪問リハビリテーション事業について	土岐 敏子
5	平成 24 年 7 月 10 日	弘前 ATIS セミナー(サノフィ・アベンティス)	動脈硬化性脳梗塞における抗血小板薬の使い方	目時 典文
6	平成 24 年 7 月 17 日	日本高血圧学会・生涯教育講演会 家庭血圧を再考する学術講演会-高血圧 Up-To-Date-(第一三共)	高血圧 Up-To-Date-今後の降圧薬処方動向予測結果-	保嶋 実
7	平成 25 年 7 月 22 日	平成 24 年度青森県高齢者地域リハビリテーション支援センター研修会	嚥下障害概論	松本 茂男
8	平成 25 年 7 月 22 日	平成 24 年度青森県高齢者地域リハビリテーション支援センター研修会	食物形態と増粘剤について	三浦 順子
9	平成 24 年 8 月 28 日	平成 24 年度相談支援従事者現任研修(青森県)	相談支援の基本姿勢及びプロセスについて	平野 尚美
10	平成 24 年 8 月 31 日	サインバルタ発売2周年記念講演会(塩野義製薬・日本イーライリリー)	脳卒中急性期におけるうつ状態の合併頻度	目時 典文
11	平成 24 年 9 月 8 日	第 52 回日本臨床化学会年次学術集会ランチョンセミナー	心原性脳梗塞症におけるBNP測定の意義	目時 典文
12	平成 24 年 10 月 5 日	平成 24 年度青森県障害者ケアマネジメント実践研修会 in 弘前	医療とのかかわり～3 障害の現場から～	平野 尚美
13	平成 24 年 10 月 14 日	東北摂食・嚥下リハビリテーション研究会第 9 回研修会	教えて、お宅の嚥下評価	松本 茂男

14	平成 24 年 11 月 7 日	青森県脳卒中セミナー (三井住友海上あいおい生命保険)	知っておきたい 脳卒中は防げる、 治せる	目時 典文
15	平成 24 年 11 月 9 日	第一回施設間勉強会 (弘前脳卒中・リハビリテーションセンター)	嚥下障害の基本	三浦 順子
16	平成 24 年 11 月 9 日	第一回施設間勉強会 (弘前脳卒中・リハビリテーションセンター)	当院の NST 活動について	佐々木 都子
17	平成 24 年 11 月 28 日	社内研修会(グラクソ・スミスクライン)	脳血管障害後のうつ治療	目時 典文
18	平成 24 年 11 月 30 日	田辺三菱製薬株式会社東北支店学術情報部社内勉強会	脳卒中後うつ病の治療戦略	佐々木 都子
19	平成 24 年 12 月 1 日	平成 24 年度青森県高齢者地域リハビリテーション支援センター研修会	嚥下障害概論	松本 茂男
20	平成 24 年 12 月 1 日	平成 24 年度青森県高齢者地域リハビリテーション支援センター研修会	食物形態と増粘剤について	三浦 順子
21	平成 24 年 12 月 5 日	平成 24 年度目からウロコ！知って得する介護講座(青森県介護・実習普及センター)	誤嚥防止の調理の工夫と食事介助について	三浦 順子
22	平成 24 年 12 月 20 日	Stroke Expert Seminar (田辺三菱製薬)	脳卒中診療における内科医の挑戦と課題	目時 典文
23	平成 25 年 1 月 16 日	寿大学の新春教養講座 (弘前市立東部公民館)	脳梗塞および脳溢血の予防について	萩井 譲士
24	平成 25 年 1 月 29 日	2015 年問題を塾考する学術講演会-抗血栓薬の取り巻く環境変化-(第一三共)	脳血管はどうして詰まるのか!?	目時 典文
25	平成 25 年 1 月 29 日	2015 年問題を塾考する学術講演会-抗血栓薬の取り巻く環境変化-(第一三共)	脳血栓薬の理想と現実ー回復期リハビリテーション病棟での経験と退院時の指導法ー	佐々木 都子
26	平成 25 年 2 月 1 日	平成 24 年度介護スキルアップ研修(青森県社会福祉協議会)	食事介助と誤嚥防止	三浦 順子
27	平成 25 年 2 月 9 日	平成 24 年度青森県高齢者地域リハビリテーション支援センター研修会	嚥下障害概論	松本 茂男

28	平成 25 年 2 月 9 日	平成 24 年度青森県高齢者地域リハビリテーション支援センター研修会	食物形態と増粘剤について	三浦 順子
29	平成 25 年 3 月 2 日	第 11 回青森県脳卒中フォーラム(田辺三菱製薬)	進行性脳梗塞の特徴	目時 典文
30	平成 25 年 3 月 2 日	第 11 回青森県脳卒中フォーラム(田辺三菱製薬)	Rivaroxaban による心原性脳塞栓の 2 次予防の安全性:Prothrombin time による検討	萩井 護士
31	平成 25 年 3 月 8 日	平成 24 年度青森県成人・老人リハビリテーション施設協会総会・研修会	嚥下障害の基礎と対応	三浦 順子

発表一覧 2013(依頼講演)

	年 月 日	学会・研究会名	発表演題	主演者名
1	平成 25 年 4 月 5 日	第 24 回青森超音波検査 談話会	頸動脈病変の経過観察中にみら れた不安定プラーク破綻の一例	乗上 綾子
2	平成 25 年 4 月 13 日	第 26 回青森県病院薬剤 師会中小病院研修会	心原性塞栓症の最近の話題	目時 典文
3	平成 25 年 4 月 19 日	相馬郡医師会学術講演会 (福島県)	心原性脳塞栓症予防のための抗 凝固療法の重要性	萩井 譲士
4	平成 25 年 4 月 24 日	亘つがる医療懇話会(小 野薬品)	臨床報告「脳卒中患者における排 尿障害について」	目時 典文
5	平成 25 年 4 月 25 日	臨床講座(日本ベーリンガ ーインゲルハイム)	心原性脳塞栓症の診断と治療	萩井 譲士
6	平成 25 年 5 月 11 日	イグザレルト発売1周年記 念講演会(バイエル薬品) (盛岡市)	心原性脳塞栓症予防のための抗 凝固療法の重要性:当院からの報 告	萩井 譲士
7	平成 25 年 5 月 14 日	Stroke Workshop in Hirosaki(アストラゼネカ、 シオノギ製薬)	動脈硬化性疾患【脂質異常症】の 診断・治療-脳血管疾患の up to date-	目時 典文
8	平成 25 年 5 月 22 日	イグザレルト錠発売 1 周年 記念講演会(バイエル薬 品)(十和田市)	心原性脳塞栓症の治療と予防	目時 典文
9	平成 25 年 5 月 24 日	イグザレルト錠発売 1 周年 記念講演会(バイエル薬 品)(弘前市)	当院におけるリバーロキサバンの 使用経験	萩井 譲士
10	平成 25 年 5 月 29 日	Total Vascular Control Seminar in Hirosaki(アスト ラゼネカ、シオノギ製薬)	全身性動脈硬化性疾患を考える -脳血管疾患から-	目時 典文
11	平成 25 年 6 月 7 日	むつ下北脳卒中講演会 (日本ベーリンガーインゲ ルハイム)	心原性脳塞栓症予防のための抗 凝固療法の重要性	萩井 譲士
12	平成 25 年 6 月 18 日	南黒医師会学術講演会	脳卒中の気になる症状	目時 典文
13	平成 25 年 6 月 26 日	新規経口抗凝固薬講演会 2013 年 in 大館~第 Xa 因 子阻害薬~	心原性脳塞栓症予防のための抗 凝固療法の重要性	萩井 譲士
14	平成 25 年 7 月 3 日	第 5 回脳梗塞急性期治療 セミナー(田辺三菱製薬)	脳卒中診療における地味だけど大 切な内科の仕事	目時 典文
15	平成 25 年 7 月 6 日	第 2 回施設間勉強会(弘 前脳卒中・リハビリテーショ ンセンター)	回復期病棟の立場から	加藤 早苗

16	平成 25 年 7 月 7 日	平成 25 年度青森県高齢者等地域リハビリテーション支援センター研修会	摂食・嚥下障害を理解するために	松本 茂男
17	平成 25 年 7 月 7 日	平成 25 年度青森県高齢者等地域リハビリテーション支援センター研修会	嚥下障害と食物の調整	三浦 順子
18	平成 25 年 7 月 25 日	船沢公民館公開市民講座	脳梗塞、脳溢血の予防について	高橋 広希
19	平成 25 年 7 月 26 日	第 15 回弘前脳卒中治療カンファレンス	脳卒中患者における排尿障害	目時 典文
20	平成 25 年 7 月 26 日	第 15 回弘前脳卒中治療カンファレンス	脳卒中急性期患者における摂食障害と認知症との関係性	谷川 千佳
21	平成 25 年 8 月 28 日	第 2 回仙台病診連携講演会	当院におけるリバーロキサバンの使用経験	萩井 謙士
22	平成 25 年 9 月 4 日	八戸うつ病治療勉強会(グラクソ・スミスクライン)	脳卒中とうつの合併頻度	目時 典文
23	平成 25 年 9 月 7 日	高血圧・脳卒中内科学講座開講記念講演会・祝賀会(弘前大学大学院医学研究科)	津軽地方における脳卒中救急医療の現状	目時 典文
24	平成 25 年 9 月 7 日	第 17 回輸液・栄養セミナー	当院における NST 活動と簡易懸濁法に必要な基礎知識	鳥谷部 翔
25	平成 25 年 9 月 11 日	ストップ！NO 卒中プロジェクト in 弘前(ファイザー株式会社)	心原性脳塞栓症の予防の実際	目時 典文
26	平成 25 年 9 月 14 日	第 28 回日本リハビリテーション医学会北海道地方会	脳卒中専門病院におけるリハビリテーションー病院完結型モデルの現状と展望ー	松本 茂男
27	平成 25 年 9 月 18 日	弘前うつ病セミナー(大日本住友製薬)	脳卒中とうつの合併頻度	目時 典文
28	平成 25 年 10 月 4 日	平成 25 年度青森県成人・老人リハビリテーション施設協会総会・研修会	口腔ケアの意義と方法	松山 哲子
29	平成 25 年 10 月 19 日	平成 25 年度青森県高齢者等地域リハビリテーション支援センター研修会	摂食・嚥下障害を理解するために	松本 茂男
30	平成 25 年 10 月 19 日	平成 25 年度青森県高齢者等地域リハビリテーション支援センター研修会	嚥下障害と食物の調整	三浦 順子

31	平成 25 年 11 月 4 日	青森県栄養士会「おいしく減塩乳和食セミナー」	高血圧と減塩	保嶋 実
32	平成 25 年 11 月 28 日	きりしま脳神経外科懇話会(田辺三菱製薬)	脳卒中内科医からみた脳梗塞治療	目時 典文
33	平成 25 年 12 月 1 日	第 6 回公開高血圧講座	血をサラサラにする薬(抗血栓薬)の上手な付き合い方	萩井 譲士
34	平成 25 年 12 月 9 日	第 258 回西北五地区薬剤師学術講演会	脳梗塞救急の現状と発症予防の大切さ～抗血栓薬を含めて～	目時 典文
35	平成 25 年 12 月 15 日	平成 25 年度青森県高齢者地域リハビリテーション支援センター研修会	摂食・嚥下障害を理解するために	松本 茂男
36	平成 25 年 12 月 15 日	平成 25 年度青森県高齢者地域リハビリテーション支援センター研修会	嚥下障害と食物の調整	三浦 順子
37	平成 26 年 1 月 8 日	消化器内科医のための抗凝固療法セミナー(ベリンガーインゲルハイム)	心原性脳塞栓症と抗凝固療法の最近の話題	目時 典文
38	平成 26 年 2 月 6 日	平成 25 年度介護スキルアップ研修会(青森県社会福祉協議会)	食事介助と誤嚥予防	松山 哲子
39	平成 26 年 2 月 7 日	第 565 回八戸胸部疾患懇話会	心原性脳塞栓症予防におけるワルファリンからイグザレルト錠へ切り替えるメリットと注意点	萩井 譲士
40	平成 26 年 2 月 13 日	Stroke Workshop in Hirosaki(アストラゼネカ)	脳梗塞の気になる症状と予防のための管理～脂質異常症を含めて～	目時 典文
41	平成 26 年 2 月 15 日	第 12 回青森県脳卒中フォーラム	脳卒中後うつの子後に関する検討	目時 典文
42	平成 26 年 2 月 15 日	第 12 回青森県脳卒中フォーラム	「脳卒中教室」の教育効果に関する検討	佐々木 有沙
43	平成 26 年 2 月 18 日	弘前 EPA フォーラム(持田製薬)	脳梗塞予防のための脂質管理～次の一手は?～	目時 典文
44	平成 26 年 2 月 19 日	社内勉強会(大塚製薬)	脳卒中後のうつについて	目時 典文
45	平成 26 年 2 月 26 日	エリキウス発売 1 周年記念講演 in 弘前(ブリistolマイヤーズ・ファイザー)	弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける NOAC の使用状況:年齢と腎機能を配慮した薬剤の選択	萩井 譲士

発表一覧 2011(論文)

	年 月 日	雑誌名	論文題目	著者名 (共著含む)
1	平成 23 年 6 月 24 日	Journal Physical Therapy Science Vol.23 No.2 (pp.259-263)	Reliability and Validity of a New Test for Muscle Power Evaluation of Stroke Patients	岩田 学
2	平成 23 年 6 月 24 日	Journal Physical Therapy Science Vol.23 No.2 (pp.277-282)	Relationship between Lower Extremity Muscle Mass, Leg Extension Strength and Muscle Power of Hemiplegic Stroke Patients	岩田 学
3	平成 23 年 10 月	理学療法科学第 26 巻 5 号 (pp.577-581)	下肢伸展挙上保持における体幹筋活動ー非挙上側下肢 3 条件による比較ー	岩田 学
4	平成 23 年 11 月 7 日	全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会機関誌第 10 巻第 3 号 (pp.42-46)	早期治療・リハ体制で津軽の脳卒中医療を支える	松本 茂男
5	平成 23 年 11 月 18 日 ～平成 24 年 3 月 16 日	朝日新聞青森版(毎週金曜日計 17 回掲載)	よくわかる脳卒中	岩田 学
6	平成 23 年 12 月	弘前医学第 62 巻 2-4 号	Actual Conditions of Postoperative Dyschezia Recognized by Rectal Cancer Patients and Self-care	岩田 学
7	平成 24 年 1 月 10 日	入門リハビリテーション医学(第 3 版)(pp.48-64)	病因論と病理学	保嶋 実
8	平成 24 年 1 月 10 日	入門リハビリテーション医学(第 3 版)	臨床検査	保嶋 実
9	平成 24 年 1 月 15 日	JOURNAL OF CLINICAL REHABILITATION 第 21 巻第 1 号 (pp.72-75)	リハビリテーション室の環境整備ー望ましいレイアウト, リスク管理関連	松本 茂男
10	平成 24 年 1 月 30 日	全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会機関誌第 10 巻第 4 号 (p.3)	巻頭言: 施策の動向をふまえ万全の準備を	松本 茂男
11	平成 24 年 2 月 25 日	臨床病理第 60 巻第 2 号 (平成 24 年 2 月)別冊 (pp.157-166)	高血圧、リハビリテーションそして臨床検査ー38 年間の大学生生活を振り返ってー	保嶋 実
12	平成 24 年 3 月 16 日	もう迷わない! 心房細動マネージメント (pp.175-182)	血栓塞栓症の二次予防: 脳梗塞再発率は高い!	目時 典文

発表一覧 2012(論文)

	年 月 日	雑誌名	論文題目	著者名 (共著含む)
1	平成 24 年 5 月	成人病と生活習慣病 42 巻 5 号 別刷 (pp.513-517)	心原性脳梗塞の重症度と抗凝固 療法の重要性	目時 典文
2	平成 24 年 7 月 31 日	青森県看護協会青森県ナ ースセンターニュース第 103 号	ワーク・ライフ・バランスで豊かな人 生を	三國谷恵美子
3	平成 24 年 10 月	Medicine and Biology Vol.156 No.10 別刷 (pp.715-722)	Risk factors for post-stroke depression in patients treated with occupational therapy	今井 寛人
4	平成 24 年 11 月 20 日	入門 リハビリテーション医 学 第 3 版	1.病因論と病理学 2.診断学概要	保嶋 実
5	平成 24 年 11 月 30 日	全国回復期リハビリテーシ ョン病棟連絡協議会機関 誌第 11 巻第 3 号 (pp.14-24)	医師・看護師ペア座談会(司会) 回復期リハ病棟の重症患者対応	松本 茂男
6	平成 25 年 2 月 10 日	Medicina 第 50 巻第 2 号 別刷(pp.304-307)	慢性期治療(2 次予防) 病診連携のあり方	目時 典文
7	平成 25 年 3 月	日本看護協会平成 24 年 度看護職のワーク・ライフ バランス推進事業報告書 (I)	弘前脳卒中・リハビリテーションセ ンターの取り組み	三國谷恵美子
8	平成 25 年 3 月 1 日	血圧 Vol.20 No.3 別刷 (pp.72-74)	私と高血圧ー研究の足跡ー	保嶋 実
9	平成 25 年 3 月 4 日	臨床検査ガイド 2013～ 2014(pp.225-226)	尿素窒素(BUN)	保嶋 実
10	平成 25 年 3 月 25 日	青森県作業療法研究 第 21 巻第 1 号(pp.49-52)	観念失行症状に対して、視覚情報 を用いることで入浴動作に改善が みられた一例	佐々木 絵里
11	平成 25 年 3 月 25 日	青森県作業療法研究 第 21 巻第 1 号(pp.57-63)	腕帯固定型自動電子血圧計を片 手で使用するためのスイッチ増設 改造	金谷 圭子

発表一覧 2013(論文)

	年 月 日	雑誌名	論文題目	著者名 (共著含む)
1	平成 25 年 4 月	最新医療情報誌「アニムス 75 号」別冊	心原性脳塞栓症における BNP 測 定の意義	目時 典文
2	平成 25 年 4 月	作業療法 第 32 巻第 2 号 抜刷(pp.123-132)	回復期脳卒中患者における主観 的回復感と脳卒中後抑うつ状態と の関連	今井 寛人
3	平成 25 年 6 月	Hypertens Res.2013 Vol36.No.6(pp.520-527)	Coupling factor6 enhances the spontaneous microaggregation of platelets by decreasing cytosolic cAMP irrespective of antiplatelet therapy.	保嶋 実
4	平成 25 年 6 月	医学と生物学 第 157 巻第 6 号(pp.799-804)	Factors affecting sleep disorder in convalescent stroke patients	佐藤 ちひろ
5	平成 25 年 8 月 20 日	脳卒中予防のための心房 細動管理マニュアル (pp.182-192)	2. 脳卒中および全身血栓塞栓 症の予防 4) 各種抗凝固薬の使い分け C. 抗 Xa 薬(リバーロキサバン)	萩井 譲士
6	平成 25 年 10 月 10 日	腎臓リハビリテーション (pp.72-75)	第 2 章腎臓病をめぐる基礎知識 Ⅲ-腎臓機能障害の検査 1 尿検査	保嶋 実
7	平成 25 年 10 月	防ごう！脳梗塞(公益社団 法人日本脳卒中協会) (p.3)	健康寿命を奪うノックアウト梗塞 -脳梗塞タイプ別に見た退院時 の重症度-(データ掲載)	目時 典文
8	平成 25 年 12 月 15 日	MEDICAMENT NEWS 第 2144 号(pp.4-5)	特集=降圧薬の特徴を整理する レニン-アンジオテンシン系 (RAS)阻害薬	保嶋 実
9	平成 26 年 1 月 20 日	東奥日報夕刊	“万病のもと”高血圧の話7-合 併症(脳卒中)-	萩井 譲士
10	平成 26 年 2 月 28 日	青森県作業療法研究 第 22 巻第 1 号別冊 (pp.5-10)	軽度脳卒中片麻痺患者の身体 的健康度と精神的健康度に関 連する要因の検討	外村 真央
11	平成 26 年 3 月 31 日	東北理学療法学No.26 2014(P.159-165)	脳卒中患者に対する歩行観察 の信頼性～臨床経験年数によ る一致度の検討～	奈川 英美

委員会報告

医療安全管理委員会

1. 活動目的

本委員会は、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける医療安全管理体制を確立し、医療安全管理のための具体的方策及び医療事故発生時の対応方法について、指針を示すことにより、適切な医療安全管理を実践し、患者様へ安全な医療を提供することを目的とする。

2. 構成員

委員長	保嶋 実	院長
副委員長	三國谷 恵美子	看護部長
	藤田 尚子※	医薬品情報室副室長
メンバー	鎌田 孝篤※	副院長（医療安全推進室室長）
	岩田 学	副院長
	齋藤 新	内科副部長
	中田 智子	看護師長
	山田 まり子	看護師長
	小笠原 美幸	看護師長
	成田 京子	看護師長
	工藤 留美子	看護師長
	小田桐 千代	看護師長
	須藤 真史	理学療法室長
	算用子 暁美	作業療法室長
	松山 哲子	言語聴覚室長
	三浦 順子	リハビリテーション部技師長
	鳥谷部 翔	薬剤室副室長
	川村 隆行	診療放射線技師長
	阿保 文子	臨床検査技師長
	土岐 敏子	医療相談室長
	鳴海 悦子	管理栄養士長
	小林 正志	事務部長
	奈良 富士子	庶務課長
	工藤 雅令	会計課長
	蒔苗 寿治	医事課長
	工藤 博人	企画運営課長
	横山 純子※	医療安全推進室副室長（専従医療安全管理者）
	福井 楽※	庶務課主任

※医療安全推進室（兼務）

3. 活動要約

- ・医療安全推進室

毎週金曜日 14:30～15:00 定例会 (LV 判定他)

毎月第3木曜日 16:00～16:30 院内巡視

推進室メンバー 6名 (平成25年7月:1名専従配置)

- ・医療安全管理委員会

毎月第2水曜日 15:30～16:00 事例報告・検討

各部署リスクマネージャー 他 24名

- ・転倒・転落ワーキング

毎月第1火曜日 16:00～16:30

各部署選出のメンバー 19名

分析G、マニュアルG、環境整備G、情報提供G

主な研修会

開催日	内容
平成25年4月2日	2014年度新入職員教育研修「リスクマネジメント」
平成25年4月18日	看護部新人教育「針刺し事故・点滴開通ミスなど」
平成25年5月15・16・17・22・23日	第1回医療安全研修会「一時救命処置」
平成25年10月21日	モニタ心電図講習会
平成25年11月13・14・18・21・22日	第2回医療安全研修会「KYT研修」
平成25年11月27日	看護部新人教育「実践の中での医療安全の取り組み」

平成25年度の報告件数は、昨年度比で5%増となっている。同様の事例も多く報告されている現状であり、問題点を明らかにし、同じことを繰り返さないための対策をしっかりと立てていく必要がある。レベル0の報告件数が増えていることで、未然に防ぐことができた内容も把握することができた。報告体制が定着しつつあると感じている。

平成26年度は、部門別・部署別で安全確保のための目標を立て、計画的に取り組んでいく。

院内感染防止対策委員会

1. 活動目的

本委員会は、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける医療関連感染防止のために、耐性菌検出状況・抗菌薬の使用状況を把握し院内感染対策の業務が適正に遂行されているかを審議する目的で活動しています。

2. 構成

委員長	保嶋 実 (院長)	
メンバー	清野 聡 (医局長)	萩井 譲士 (内科副部長)
	三國谷恵美子 (看護部長)	中田 智子 (看護師長)
	山田 まり子 (看護師長)	金崎 真紀子 (看護師長)
	小笠原 美幸 (看護師長)	工藤 留美子 (看護師長)
	成田 京子 (看護師長)	横山 純子 (看護師長)
	赤石 富士子 (看護師) ※	阿保 文子 (臨床検査技師長)
	三浦 順子 (リハビリテーション部技師長)	吉澤 佳子 (管理栄養士)
	川村 隆行 (診療放射線技師長)	小林 正志 (事務部長)
	蒔苗 寿治 (医事課長)	鳥谷部 翔 (薬剤室副室長)
	倉内 寿孝 (薬剤師)	久米田 一喜 (薬剤師)

※感染管理者

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	平成 25 年 4 月 17 日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告 緑膿菌感受性報告 I C T 委員よりラウンド状況など報告
2	平成 25 年 5 月 15 日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告 手指消毒剤をゴージョーMHSに変更 I C T 委員よりラウンド状況など報告
3	平成 25 年 6 月 19 日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告 今月より、抗菌薬AUD報告追加 I C T 委員よりラウンド状況など報告
4	平成 25 年 7 月 17 日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告 I C T 委員よりラウンド状況など報告

5	平成 25 年 8 月 21 日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告 I C T 委員よりラウンド状況など報告
6	平成 25 年 9 月 18 日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告 I C T 委員よりラウンド状況など報告
7	平成 25 年 10 月 16 日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告 I C T 委員よりラウンド状況など報告 インフルエンザワクチン購入数検討
8	平成 25 年 11 月 20 日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告 I C T 委員よりラウンド状況など報告 第 2 回院内感染研修会の内容検討
9	平成 25 年 12 月 18 日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告 I C T 委員よりラウンド状況など報告 手指保護剤購入検討
10	平成 26 年 1 月 22 日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告 I C T 委員よりラウンド状況など報告 手指保護剤 プロテクト X 2 使用決定
11	平成 26 年 2 月 19 日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告 I C T 委員よりラウンド状況など報告 ノロウイルス検出キット保存状態の確認
12	平成 26 年 3 月 19 日	感染情報レポートの検討 抗菌薬・消毒薬使用状況の報告 I C T 委員よりラウンド状況など報告 インフルエンザへの病院対応について

4. 活動要約

- ・ 感染情報レポートを検討し、患者状況・治療状況を把握
- ・ 検査室より血液培養結果、耐性菌検出状況報告
- ・ 薬局より、抗菌薬・消毒剤使用状況報告
- ・ I C T よりラウンド状況報告
- ・ 年 2 回開催の勉強会内容を検討

栄養管理委員会

1. 活動目的

病院給食が合理的に運営されるために栄養管理委員会を開催し、患者の適正な栄養管理を行い、医療の質の向上を計ることを目的とする。

2. 構成員

委員長	佐々木 都子（内科副部長）	
メンバー	鳥谷部 翔（薬剤室副室長）	山内 めぐみ（臨床検査技師）
	三國谷 恵美子（看護部長）	今井 真子（看護師）
	織田 麻莉（看護師）	横濱 岳（看護師）
	高阪 理恵（看護師）	高松 雄治（看護師）
	伊藤 光沙（看護師）	齋藤 恵（看護師）
	須藤 恵美子（看護師）	三上 順子（看護師）
	石黒 智子（看護師）	渋谷 澄子（准看護師）
	村上 直美（看護師）	佐藤 眞紀子（看護師）
	池上 友紀子（言語聴覚士）	蒔苗 寿治（医事課長）
	須藤 貴子（栄養士・日清医療食品）	
	鳴海 悦子（管理栄養士長）	吉澤 佳子（管理栄養士）
	木村 まなみ（管理栄養士）	

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	平成 25 年 4 月 3 日	栄養教室日程、栄養指導件数報告、NST 報告、アンケート調査結果、NST 運用フローチャート、配膳方法の変更
2	平成 25 年 5 月 1 日	栄養教室日程、栄養指導件数報告、NST 報告、アンケート調査結果、行事食、献立の検討、院内・外勉強会予定
3	平成 25 年 6 月 5 日	栄養教室日程、栄養指導件数報告、NST 報告、アンケート調査結果、行事食、春の食事会反省、献立の検討、メディカルスタッフ勉強会、補助飲料の試飲
4	平成 25 年 7 月 3 日	栄養教室日程、栄養指導件数報告、NST 報告、アンケート調査結果、行事食、異物混入
5	平成 25 年 8 月 7 日	栄養教室日程、栄養指導件数報告、NST 報告、アンケート調査結果、行事食、経腸栄養剤・補助食品の改正、実習生予定、勉強会開催、衛生管理、補助食品の試食
6	平成 25 年 9 月 4 日	栄養教室日程、栄養指導件数報告、NST 報告、アンケート調査結果、行事食
7	平成 25 年 10 月 2 日	栄養教室日程、栄養指導件数報告、NST 報告、アンケート調査結果、秋の食事会反省、集団栄養教室の運営方法、REF-P1 使用方法、お茶ポットの検討、補助食品の提供方法

8	平成 25 年 11 月 6 日	栄養教室日程、栄養指導件数報告、NST 報告、アンケート調査結果、生もの提供、ノロウイルスマニュアル確認、備蓄食品
9	平成 25 年 12 月 4 日	栄養教室日程、栄養指導件数報告、NST 報告、アンケート調査結果、移動給食入力の確認、半固形化栄養の連絡体制
10	平成 26 年 1 月 8 日	栄養教室日程、栄養指導件数報告、NST 報告、アンケート調査結果、行事食、クリスマス食事会反省、補助飲料の追加・変更、院内約束食事箋の検討、ノロウイルスマニュアル感染の対応
11	平成 26 年 2 月 5 日	栄養教室日程、栄養指導件数報告、NST 報告、アンケート調査結果、ノロウイルスマニュアル確認、来年度の食事会予定
12	平成 26 年 3 月 5 日	栄養教室日程、栄養指導件数報告、NST 報告、アンケート調査結果、行事食、お茶コップの数確認、嚥下調整食開始、栄養管理計画書の確認、JSPEN 報告

4. 活動要約

- ・栄養教室の運営をスライド方式へ変更し、患者様に分かりやすく聞いて頂けるようになった。
- ・食事会や行事食は例年通り実施。また、患者様や職員の意見を参考に、日清医療食品との連携を図りながら、献立内容や提供方法を見直した。
- ・ノロウイルスマニュアルに関し再確認した。
- ・栄養補助食品の栄養組成や味を見直し、変更及び新規に追加した。種類が増えた事で、患者様の栄養状態や褥瘡などに細かく対応して提供出来るようになった。

褥瘡対策委員会

1. 活動目的

本委員会は、財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける院内褥瘡対策を討議・検討し、その効率的な推進を図ることを目的とする。

2. 構成員

委員長	岩田 学	(副院長)		
副委員長	栗嶋 昭子	(看護師)		
メンバー	三國谷恵美子	(看護部長)	工藤 妥恵	(看護師)
	阿部 早苗	(薬剤師)	佐々木 昭子	(看護師)
	吉澤 佳子	(管理栄養士)	工藤 佳菜子	(看護師)
	小山 初美	(看護師)	川村 理恵	(看護師)
	小野 るり子	(看護師)	浅利 尚美	(リハ主任)
	三上 知彦	(看護師)	小野 公久	(リハ主任)
	阿保 智加	(看護師)	奈良 絵	(医事課)
	宇野 喜美子	(准看護師)	菊池 真	(会計課)
	猪股 三枝子	(看護師)		

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	平成 25 年 4 月 24 日	褥瘡委員会報告書の一部を変更修正した。
2	平成 25 年 5 月 22 日	体位交換枕の購入を検討した。
3	平成 25 年 6 月 26 日	褥瘡委員会報告書の改正を行った。看護計画の評価時期について検討した。体位交換枕を購入した。
4	平成 25 年 7 月 24 日	2 病棟倉庫に保管しているエアマットの段ボールが 5 個水没し使用困難となったため交換する予定とした。
5	平成 25 年 8 月 28 日	ブレードンスケールシートを作成し 10 月よりシートの運用を開始することにした。
6	平成 25 年 9 月 25 日	
7	平成 25 年 10 月 23 日	アルジサイト銀が今後も必要か検討した。
8	平成 25 年 11 月 27 日	委員会終了後に委員全員で栄養補助食品の試飲を行った。
9	平成 25 年 12 月 25 日	
10	平成 26 年 1 月 29 日	ハイドロサイト銀のサンプルを取り寄せる。
11	平成 26 年 2 月 26 日	ハイドロサイト銀を患者様へ使用開始した。
12	平成 26 年 3 月 26 日	ハイドロサイトの在庫がなくなり次第、ハイドロサイト銀へ切り替えることを決定した。

4. 活動要約

- ・ 定例委員会において、各病棟での褥瘡発生状況と治療経過について確認検討した。
 - ・ 定例委員会において、体位交換枕等の使用状況について確認した。
 - ・ 看護計画における褥瘡評価時期について検討した。
 - ・ ハイドロサイト銀のサンプル使用において、粘着性による皮膚剥離等のトラブル発生がないことを確認し、本採用を決定した。
 - ・ 院内での新規褥瘡発生予防への取り組みとして、褥瘡治療ガイドラインで推奨されているブレーデンスケール導入について検討し、運用を開始した。
 - ・ より活発な委員会を目指し、次年度の取り組み課題を検討した。
- 1) リハスタッフ、栄養士、薬剤師がその専門性を生かし、予防や栄養補助食品、薬剤に関する情報を積極的に提供していく。
 - 2) 褥瘡に関する研修会への参加を促進する。
 - 3) 定例委員会で勉強会を開催する。
 - 4) 褥瘡に関する病棟スタッフ間での質問や話し合いが活発になるように、褥瘡対策委員が積極的に啓蒙活動を行う。

衛生委員会

1. 活動目的

衛生委員会の構成、運営、調査審議事項などを定め、衛生管理活動の円滑な推進を図ることを目的とする。

2. 構成員

委員長	保嶋 実	院長 (衛生管理者)
	人見 博康	内科部長 (産業医)
	清野 聡	医局長 (衛生管理者)
	松本 茂男	副院長
	小林 正志	事務部長
	三國谷 恵美子	看護部長
	横山 純子	看護師長
	小田桐 千代	看護師長
	三浦 順子	リハビリテーション部技師長
	川村 隆行	診療放射線技師長
	算用子 暁美	作業療法室長
	齋藤 理恵	医事課主任
	奈良 富士子	庶務課長

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	平成 25 年 4 月 24 日	春の健康診断、労災事故、産業医の巡回他について報告および検討をした。
2	平成 25 年 5 月 29 日	春の健康診断、労災事故、産業医の巡回他について報告および検討をした。
3	平成 25 年 6 月 26 日	研修会の検討および 産業医の巡回について報告および検討をした。
4	平成 25 年 7 月 31 日	春の健康診断結果の配布とフォローアップについて報告をした。 メンタルヘルスケア研修会について：9 月 11 日、講師古郡則雄先生に決定した。
5	平成 25 年 8 月 28 日	労災事故、産業医の巡回他について報告および検討をした。
6	平成 25 年 9 月 25 日	秋の健康診断、労災事故、産業医の巡回他について報告および検討をした。
7	平成 25 年 10 月 30 日	労災事故、産業医の巡回他について報告および検討をした。
8	平成 25 年 11 月 27 日	こころの相談担当として医師の必要性を検討をした。
9	平成 25 年 12 月 25 日	春の健康診断結果の配布とフォローアップについて報告をした。 こころの相談担当に古郡則雄先生に決定した。
10	平成 26 年 1 月 29 日	感染罹患状況、労災事故について報告および検討をした。

11	平成 26 年 2 月 26 日	感染罹患状況、労災事故について、産業医の緊急巡回（職員駐車場）の報告および検討をした。
12	平成 26 年 3 月 26 日	感染罹患状況、労災事故、春の健康診断他について報告および検討をした。

4. 活動要約

- ・事業者側と雇用者側からの委員構成で職場環境の点検と対策について検討した。
- ・健康診断で所見のあった職員へのフォローアップをした。
春の受診者数 179 人、指示人数 43 人（24%）
秋の受診者数 389 人、指示人数 53 人（13%）
- ・労災事故対策は、路面凍結による転倒事故について対策検討をした。職員通用口付近に水による融雪および電気マットを敷いた。
労災事故件数 骨折 1 件、打撲 2 件、針刺し 2 件
- ・メンタルヘルスケアについて年 1 回の研修会の実施
講演：「うつ」に対する対応について／開催：9 月 11 日、講師：古郡規雄先生、参加者 337 人
こころの相談員として、弘前大学大学院医学研究科 神経精神医学講座 准教授の古郡規雄先生が担当になった。
- ・感染罹患状況の把握と休養の指導をした。
- ・産業医の巡回による職場環境の点検および指摘事項の検討をした。

検査適正委員会

1. 活動目的

本委員会は、当院において臨床検査を適正かつ円滑に遂行するための検討を行うことを目的とする。

2. 構成員

委員長	萩井 譲士 (内科副部長)	
メンバー	保嶋 実 (院長)	清野 聡 (医局長)
	山田 まり子 (看護師長)	三國谷恵美子 (看護部長)
	横山 純子 (看護師長)	倉内 寿孝 (薬剤師)
	小笠原 美幸 (看護師長)	阿保 文子 (臨床検査技師長)
	成田 京子 (看護師長)	蒔苗 寿治 (医事課長)
	工藤 留美子 (看護師長)	小田桐 千代 (看護師長)

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	平成 25 年 4 月 17 日	検査項目の中止と追加 (QFT→ELISPOT) 検討
2	平成 25 年 5 月 15 日	自動生化学分析装置の不具合と対処の報告
3	平成 25 年 6 月 19 日	精度管理結果報告(4 調査)、機器点検報告(アイstatt)、 試験管の変更検討(安価のものへ)
4	平成 25 年 7 月 17 日	精度管理参加報告、検査システム入替計画検討、 緊急用生化学採血管変更検討
5	平成 25 年 8 月 21 日	精度管理参加報告
6	平成 25 年 9 月 18 日	精度管理実施報告、検査システム入替完了報告、 凝固検査機器変更報告(追加検査項目有)、抗凝固薬の検討開始報告
7	平成 25 年 10 月 16 日	精度管理参加申込、結果報告
8	平成 25 年 11 月 20 日	精度管理参加申込、実施、結果報告 検査項目測定機器変更報告
9	平成 25 年 12 月 18 日	機器点検報告(アイstatt)、 精度管理参加申込、実施、結果報告
10	平成 26 年 1 月 22 日	精度管理参加報告、自動血球分析装置の購入検討
11	平成 26 年 2 月 19 日	精度管理結果報告(2 調査)、 外注検査項目の試薬変更報告
12	平成 26 年 3 月 19 日	精度管理実施報告、機器点検報告(アイstatt)、 外注検査項目の試薬変更報告

4. 活動要約

- ・検査データの精度の向上に努める。
- ・最新の検査項目の提供
- ・検査機器の保守
- ・研究活動(抗凝固薬の検討)

薬事審議委員会

1. 活動目的

本委員会は、財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける医薬品の採用及び削除に関して審議し、医薬品適正使用を目的に活動するものである。

2. 構成員

委員長	清野 聡 (医局長)	
メンバー	岩田 学 (副院長)	
	内沢 隆充 (脳神経外科部長)	目時 典文 (内科副部長)
	小林 正志 (事務部長)	蒔苗 寿治 (医事課長)
	鳥谷部 翔 (薬剤室副室長)	工藤 博人 (企画運営課長)
	藤田 尚子 (医薬品情報室副室長)	

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	平成 25 年 4 月 8 日	平成 25 年度委員任命 経管投薬可能な高カリウム血症薬検討 インスリン製剤類似商品名薬の削除検討 アマリール錠、アクトス錠の後発品検討 採用申請状況報告、デッドストック使用動向確認
2	平成 25 年 5 月 13 日	ユナシン注の採用規格検討 生食ロック用のシリンジ製剤の検討 DPP4 阻害薬の追加採用の検討 採用申請状況報告、デッドストック使用動向確認
3	平成 25 年 6 月 10 日	ユリノーム錠後発品の検討 感染対策委員会より手指消毒薬変更の検討 イオパミロン注採用規格追加の検討 採用申請状況報告、デッドストック使用動向確認
4	平成 25 年 7 月 8 日	リバロ錠の口腔内崩壊錠検討 採用申請状況報告、デッドストック使用動向確認
5	平成 25 年 8 月 12 日	造影剤後発品の検討 リリカカプセル採用規格変更の検討 ビタミン B1 注の本採用検討 患者限定採用品から本採用への検討 採用申請状況報告、デッドストック使用動向確認
6	平成 25 年 9 月 9 日	造影剤後発品の検討 (前回続き) カリメート経口液フレーバー変更の検討 採用申請状況報告、デッドストック使用動向確認

7	平成 25 年 10 月 21 日	スピリーバデバイス変更の検討 レニベース錠、吸湿性に強い後発品の検討 救急カート薬の検討 サムスカ錠効能毎上限用量変更による規格検討 採用申請状況報告、デッドストック使用動向確認
8	平成 25 年 11 月 11 日	スクラルファート内用液後発品の検討 糖注・生食注販売中止に伴う代替品の検討 ブロチゾラム錠、口腔内崩壊錠の検討 採用申請状況報告、デッドストック使用動向確認
9	平成 25 年 12 月 9 日	酸化マグネシウム製剤採用変更の検討 ツムラ六君子湯本採用の検討 注射用オノアクト本採用の検討 採用申請状況報告、デッドストック使用動向確認
10	平成 26 年 1 月 20 日	酸化マグネシウム製剤採用変更の検討(前回続き) ガスター注後発品の検討 ラクツロースシロップ分包品の検討 トラゼンタ錠本採用の検討 採用申請状況報告、デッドストック使用動向確認 日経メディカル 2013 年後発品企業評価について
11	平成 26 年 2 月 10 日	インカルボン坐剤販売中止に伴う類似薬の検討 トビエース錠本採用の検討 フェブリック錠本採用の検討 採用申請状況報告、デッドストック使用動向確認
12	平成 26 年 3 月 10 日	緑内障点眼薬後発品の検討 採用申請状況報告、デッドストック使用動向確認 後発医薬品採用割合報告

4. 活動要約

- ・ 薬剤師が各製造販売会社HP、MR訪問、添付文書やインタビューフォームなどから情報入手し、資料を作成し薬事審議委員会にて審議する。
- ・ 県内医療機関の採用状況及び流通を定期的に聴取し評価する。
- ・ 採用中の先発医薬品の中で①適応に違いがない②形状や大きさが先発と似ている③後発医薬品のみの特徴がある、など変更可能と考えられる医薬品を積極的に後発品に切り替える。新規採用の場合でも可能であれば後発医薬品とする。
- ・ 新規採用薬、採用変更及び中止薬を院内に回覧し周知する。
- ・ デッドストック情報を毎月共有し不良在庫にならないようにする。
- ・ 後発医薬品採用割合を、年度末より定期的ではなく毎月チェックする。
- ・ 問題発生があれば速やかに薬審に報告し採用継続の適否を検討する。

倫理委員会

1. 活動目的

委員会は、当院における医学・医療の倫理的問題について協議するとともに、病院長又は医療部長の諮問を受けて、当院に所属する者が当院において行う医療行為、医学研究及び教育等が医の倫理に関するヘルシンキ宣言等の趣旨に沿って倫理的配慮の下に行われるか審査する。

2. 構成員

委員長 松本 茂男（副院長）
メンバー 鎌田 孝篤（副院長）
清野 聡（医局長）
三國谷 恵美子（看護部長）
【病院外部の学識経験者】
弘前大学大学院医学科循環呼吸腎臓内科学講座
准教授 長内 智宏
青森県立保健大学健康科学部理学療法学科
准教授 勘林 秀行
東北メディカル学院
学術教育顧問 二唐 東朔
【事務局】
奈良 富士子（庶務課長）
神野 一條（庶務課）

3. 活動記録

A 審議あり

回	受付日	申請者
1	平成 25 年 4 月 11 日	弘前大学大学院神経精神医学講座 菅原 典夫
2	平成 25 年 4 月 22 日	介護老人保健施設 つがる 柴田 そのみ
3	平成 25 年 7 月 30 日	弘前大学大学院老年保健学分野 木立 るり子
4	平成 25 年 7 月 31 日	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 奈川 英美
5	平成 25 年 8 月 9 日	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 萩井 譲士
6	平成 25 年 8 月 20 日	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 岡田 康平
7	平成 25 年 10 月 24 日	弘前大学大学院障害保健学分野 藤田 俊文
8	平成 25 年 11 月 7 日	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 目時 典文
9	平成 25 年 11 月 7 日	弘前大学大学院放射線生命学分野 真里谷 靖
10	平成 25 年 11 月 8 日	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 内沢 隆充
11	平成 26 年 2 月 12 日	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 齋藤 新
12	平成 26 年 2 月 24 日	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 萩井 譲士
13	平成 26 年 2 月 28 日	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 小野 聡子

B 審議なし

回	受付日	申請者
1	平成 25 年 6 月 6 日	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 鳥谷部 翔
2	平成 25 年 7 月 30 日	弘前大学大学院循環呼吸腎臓内科学講座 富田 泰史
3	平成 26 年 2 月 14 日	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 工藤 くみ
4	平成 26 年 2 月 18 日	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 成田 幸英
5	平成 26 年 2 月 18 日	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 佐々木 有沙
6	平成 26 年 2 月 18 日	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 谷川 千佳
7	平成 26 年 2 月 24 日	弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 奈川 英美

4. 活動要約

- ・ 審査は、紙上にて実施している。
- ・ 各委員が審査の上、必要において申請者へ質問をしている。また、不備な点については、修正、追加の上再申請をさせている。

広報委員会

1. 活動目的

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター(以下「センター」という。)の医療情報の広報を的確に推進するため、センターに広報委員会(以下「委員会」という。)を置く。

2. 構成員

委員長 岩田 学 (副院長)
 メンバー 目時 典文 (内科副部長)
 三國谷 恵美子 (看護部長)
 三浦 順子 (リハビリテーション部技師長)
 奈良 富士子 (庶務課長)
 鳥谷部 翔 (薬剤室副室長)

3. 活動記録

回	開催日	内 容
1	平成 25 年 4 月 22 日	今年度の目標を 1. ホームページの充実を図る。2. 年報の作成に決定した。
2	平成 25 年 5 月 27 日	・ホームページについて、一般財団法人の決算書の公開、院内研修会の実績掲載等の現況報告があった。 ・年報発行年度の審議をした。25 年度分を作成し 26 年度発行に決定した。
3	平成 25 年 6 月 24 日	ホームページについて、財団のホームページの作成、お知らせの充実等の現況報告があった。
4	平成 25 年 7 月 22 日	ホームページについて、職員専用ページ PR ポスターの作成、院内研修会演者への記事依頼、脳卒中教室等の現況報告があった。
5	平成 25 年 8 月 26 日	・ホームページについて、更新、WG の任期交代引継、委託事業の記事依頼等の現況報告があった。 ・年報のたたき台を作ることになった。
6	平成 25 年 9 月 30 日	・ホームページについて、脳ドックの掲載、講演会、院内研修の実績等の現況報告があった。 ・年報のたたき台として掲載内容の資料の提出があり審議した。
7	平成 25 年 10 月 28 日	・ホームページについて、職員から内容について問題、意見があり対応方法、広報活動の予算獲得方法についての現況報告があった。 ・年報について、PDF をホームページで公開する方針となった。
8	平成 25 年 11 月 25 日	・ホームページについて、特記すべき事項なし。 ・年報について、冊子は作らずホームページで公開。研究活動のまとめ、統計、学会研究を掲載する。6 月頃完成予定で進めることになった。
9	平成 25 年 12 月 16 日	・ホームページについて、職員の記事の中からアクセス数が多か

		<p>った人を忘年会で表彰をした等の現況報告があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年報について、PDF で6月頃完成の予定。
10	平成 26 年 1 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページについて、WG のメンバー交代の報告があった。 ・年報について、他病院の年報が届いたので参考にすることにした。 ・公開講座について、当院主催の市民公開講座の企画案をした。
11	平成 26 年 2 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページについて、充実を図るため、レク委員会、研修委員会、医事課に提供協力を依頼したこと。啓蒙活動を進めている等の現況報告があった。 ・年報について、年報記載事項の提示があり担当部署の検討を行った。 ・公開講座について、10月5日ヒロロに決定した。
12	平成 26 年 3 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページについて、院内ホームページの充実を図るため、新人紹介、慶弔関係等紙ベースの近況報告を取り入れる報告があった。 ・年報について、コンテンツ案で進めて9月頃完成予定。委員会報告を掲載するため各委員会へ作成依頼することを決めた。

4. 活動要約

- ・今年度の目標、「ホームページの充実」と「年報の作成」を掲げ審議検討した。
- ・ホームページは、WG の活動により更新も多く、内容も充実された。
- ・年報は、発行月、掲載内容、担当等を審議検討し平成 26 年 9 月を完成予定とした。
- ・市民公開講座の企画をした。(平成 26 年 10 月 5 日開催)

教育研修委員会

1. 活動目的

本会は、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける職員の学習を奨励し、①職業人として自己を研鑽する姿勢を身につける、②医療人として患者のために奉仕する心を学ぶ、③プロフェッショナルとして個々の知識、スキルを高めるための支援、及び環境調整をするものである。

2. 構成員

委員長	岩田 学 (副院長)	
副委員長	人見 博康 (内科部長)	三浦 順子 (リハビリテーション部技師長)
メンバー	鳥谷部 翔 (薬剤室副室長)	阿保 文子 (臨床検査技師長)
	川村 隆行 (診療放射線技師長)	鳴海 悦子 (管理栄養士長)
	小田桐千代 (看護師長)	佐々木綾子 (看護師)
	中村 学人 (理学療法士)	増田 大起 (作業療法士)
	成田 笑美 (医療相談員)	立林 修 (医事課係長)
	濱中 麻里 (医事課)	桑田 武人 (会計課主任)

3. 委員会開催記録

回	開催日	内容
1	平成 25 年 4 月 26 日	資格取得のための出張予算について報告 承認伺いと出張命令書の書式変更 今年度施設間勉強会計画報告
2	平成 25 年 5 月 24 日	メディカルスタッフ勉強会変更報告 承認伺い運用検討 施設間勉強会今年度 1 回目計画 ケアマネージャー資格更新研修について検討
3	平成 25 年 6 月 28 日	広報委員会依頼事項について確認 施設間勉強会日程について検討
4	平成 25 年 7 月 26 日	施設間勉強会報告 平成 24 年度出張実績の確認
5	平成 25 年 8 月 23 日	次回施設間勉強会内容検討と名称変更について 職員表彰の選考方法について
6	平成 25 年 9 月 27 日	メディカルスタッフ勉強会評価法の確認 施設間勉強会名称の変更決定 承認伺い書変更の確認
7	平成 25 年 10 月 25 日	職員表彰の選考方法決定 ケア勉強会参加人数の報告 院内研究発表会実施時期の検討
8	平成 25 年 11 月 22 日	「ベストホスピタリティアワードオブ黎明郷」選考とリハビリテーションケア勉強会報告

9	平成 25 年 12 月 20 日	「ベストホスピタリティアワードオブ黎明郷」選考基準の見直しと予演会の報告
10	平成 26 年 1 月 24 日	資格申請書と戦略的人材育成について 県の委託事業予定の報告
11	平成 26 年 2 月 25 日	平成 26 年度研修旅費と学術助成金について ベストホスピタリティ賞の副賞について検討
12	平成 26 年 3 月 28 日	平成 26 年度助成費について報告 学術奨励表彰者の決定

4. 活動要約

- ・ 研修旅費と学術助成の見直しを行った。
- ・ 戦略的に人材育成することを、部署計画として浸透させた。
- ・ 施設間勉強会を成人老人リハビリテーション施設協会の下部会と位置付け活動することとした。
- ・ 教育研修に関する内容を広報委員会と情報共有することとした。

患者サービス委員会

1. 活動目的

本委員会は、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける各部門が連携協調を図り、業務の円滑な処理および効率性を確保することにより、病院を利用する患者および患者の家族等（以下患者等）へのサービス向上に資することを目的とする

2. 構成員

委員長	横山 純子（看護師長）	
メンバー	鎌田 孝篤（副院長）	松本 茂男（副院長）
	中田 智子（看護師長）	蒔苗 敦子（看護主任）
	工藤留美子（看護師長）	金崎真紀子（看護主任）
	小田桐千代（看護師長）	黒石 昌（看護主任）
	工藤 正弘（看護主任）	佐藤 愛（看護師）
	村上 朋子（看護師）	葛西佳奈子（看護師）
	山内 史子（看護師）	工藤 育子（リハ主任）
	佐藤 志穂（リハ主任）	福山 美佳（言語聴覚士）
	工藤 慎（医療相談室主任）	関 晃治郎（診療放射線技師）
	工藤 雅令（会計課長）	柳沢 緑（医事課）

3. 活動要約

・患者サービス委員会：

毎月第2木曜日 15：30～16：00 メンバー 21名

・活動内容

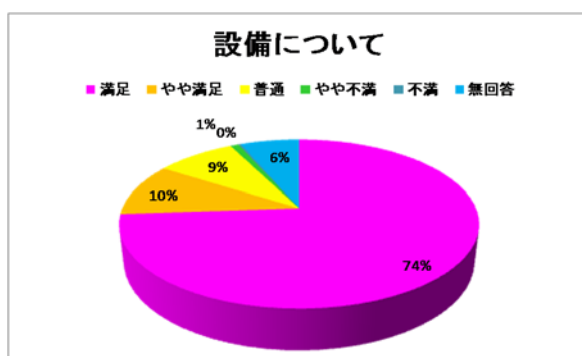
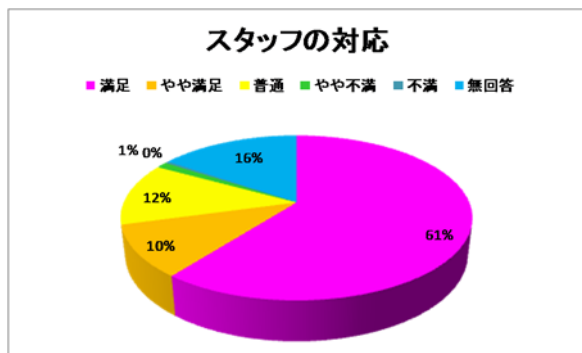
職員の患者等への対応サービスの向上に関すること
患者等の院内活動にかかるサービス向上に関すること
患者等からの苦情・意見の収集および対応に関すること
ボランティアの受け入れおよび活動内容に関すること
その他の医療サービスに関すること

・主なイベント

開催日	内容
平成25年4月11日	接遇研修参加数102名
平成25年5月28～31日	春の清掃活動（ゴミ拾い）参加数91名
平成25年6月下旬	七夕飾り
平成25年7月3日, 10月2日,12月3日	ゴスペルコンサート（Gifts）3回開催
平成25年10月	津軽弁ラジオ体操 CD各病棟配布
平成25年11月26日	接遇研修（感じの良い電話対応）参加数72名
平成25年12月10日	マンドリン演奏会

・その他の対応

退院時患者アンケート（意見箱から） 回収率 32.2%



- ◆リハビリ室の枕カバー ⇒ 交換回数増、コロコロ使用
- ◆病室内テレビ音量 ⇒ 入院しおり イヤホンの使用を追加記載
- ◆トイレトーパー片手だと使いにくい ⇒ 材質の違う物に変更
- ◆テレビ券売機 4 病棟なし ⇒ 設置場所を変更し各病棟へ
- ◆院内案内表示（エレベーター、トイレなど）⇒ 業者へ依頼
- ◆身体障害者用駐車場の除雪 ⇒ 水を流し対応
- ◆接遇

ご意見に関しては、回答とともに院内 2 か所に掲示（月単位）している。

4. 今後の方針

- ・退院時アンケート回収率が 30%前後で推移しているため、渡すタイミングなど工夫し回収率アップに努めていく。
- ・委員会では、アンケートおよび BOX に入れられた意見を中心に対応しているが、その他のいろいろな声にも耳を傾けていきたいと考えている。
- ・スタッフの気づきや患者様の声を委員へ伝えていただき、対応していく。

部署代表者委員会

1. 活動目的

本委員会は、少しでも働きやすい環境となるよう、就業規則等の作成・変更にあたっての意見を職員から聴取・集約した上での財団との交渉や、財団が必要とする意見交換に応じ、法令で定められた書面による財団との協定の締結・変更及び解約を行うことを目的とする。

2. 構成員

委員長	診療部代表	川村 隆行 (診療放射線技師長)
メンバー	医局代表	佐々木都子 (内科副部長)
	看護部代表	佐藤 奈奈 (看護主任)
	〃	大川 麻美 (看護主任)
	リハビリテーション部代表	浅利 尚美 (リハ主任)
	〃	佐藤 登康 (作業療法士)
	事務部代表	立林 修 (医事課係長)

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	平成 25 年 4 月 9 日	就業規則 (継続雇用制度) の一部改正の変更を 4 月 5 日 (金) に弘前労働基準監督署に届出したことを財団より報告を受ける。
2	平成 25 年 4 月 9 日	委員長が職員代表者として適任であるか、各部署に確認するための書面を回覧した。
3	平成 25 年 4 月 11 日	財団より委員会に対し、平成 25 年度の定期昇給・賞与支給率、並びに給与規定 (管理宿日直手当) の一部変更についての説明会が開催された。
4	平成 25 年 4 月 12 日	4 月 11 日に行われた説明会の結果を各部署へ書面にて回覧した。
5	平成 25 年 4 月 19 日	4 月 11 日に行われた説明会の結果に関して、職員から賛同を得られた為、財団と協定書を締結した。
6	平成 25 年 5 月 2 日	4 月 9 日付で回覧した書面を回収・確認した結果、過半数以上の職員から賛同を得られたことを各部署に文書にて報告した。
7	平成 25 年 8 月 1 日	就業規則 (盆休日と管理宿日直手当) の一部改正について、意見を文書で提出するよう財団より委員会へ依頼あり。→委員会から異議なし。
8	平成 25 年 8 月 6 日	就業規則 (盆休日と管理宿日直手当) の一部改正の変更を 8 月 2 日 (金) に弘前労働基準監督署に届出したことを財団より報告を受ける。
9	平成 25 年 11 月 22 日	就業規則・給与規定に関する意見・要望について委員で話し合いを行った。
10	平成 26 年 3 月 10 日	職員から提出された就業規則・給与規定に関する意見・要望を委員でまとめた。

11	平成 26 年 3 月 11 日	財団より委員会に対し、平成 26 年度の時間外労働及び休日労働に関することや、定期昇給・賞与支給率についての説明があった。また、委員会から財団に対して、職員からの意見・要望に書面にて回答して頂くようお願いした。(意見・要望に対する回答は平成 26 年 4 月に頂いた)
12	平成 26 年 3 月 13 日	平成 26 年度の時間外労働及び休日労働に関する協定書を財団と締結した。(各部署へ書面にての回覧は平成 26 年 4 月に行った)
13	平成 26 年 3 月 17 日	平成 26 年度の定期昇給・賞与支給率についての協定書を財団と締結した。(各部署へ書面にての回覧は平成 26 年 4 月に行った)

4. 活動要約

職員の大半は、働く環境に何らかの不満を感じているはずなので、微力ながらも改善に向けて努力は続けているが、職員が納得する結果が得られていないため、26 年度は少しでも職員にとっての朗報を増やすことを目標とする。

ワークライフバランス推進委員会

1. 活動目的

平成 22 年度より日本看護協会と都道府県看護協会が協働し、WLB 実現に取り組む医療施設を支援する事業に参加し、労働環境が改善され、働き続けられる職場づくりを目指す

2. 構成員

委員長	三國谷恵美子（看護部長）
メンバー	小笠原 美幸（看護師長）
	内山 映子（看護師）
	奈良 富士子（庶務課長）
	工藤 博人（企画運営課長）
	工藤 育子（リハ主任）

3. 活動記録

回	開催日	内 容
1	平成 25 年 5 月 8 日	事業 2 年目アクションプラン確認 情報交換会（自施設の問題・課題等話し合い）
2	平成 25 年 10 月 11 日	情報交換会 アクションプランの進捗状況 インデックス調査結果分析
3	平成 26 年 2 月 1 日	公開講座 2 年目取組の発表・総評

定例推進委員会 月 1 回 第 4 週木曜日 16 : 00

インデックス調査 年 1 回

4. 活動要約

- ・院内保育利用者との個別面談実施、夜勤専従試行など夜勤者確保に繋げる。
- ・人材育成支援の環境整備に努める。
- ・有給休暇取得率向上、連続休暇取得により職員の満足感につなげるよう努める。
- ・「お互い様精神」のルール化について、職場代表委員会を通じて提案する。
- ・時間外勤務削減・看護職負担軽減を目的に業務改善継続に努める。
- ・今後は改善できたことを職員にフィードバックし、周知していただくよう努める。

NST(Nutrition Support Team)

1. 活動目的

本チームは、一般法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける、入院患者の栄養の向上と維持のために活動するものである。

2. 構成員

リーダー	佐々木都子（内科副部長）				
メンバー	鳥谷部 翔（薬剤室副室長）	山内めぐみ（臨床検査技師）	乗上 綾子（臨床検査技師）		
	今井 真子（専任看護師）	織田 麻莉（看護師）	横濱 岳（看護師）		
	高阪 理恵（専任看護師）	須藤恵美子（看護師）	高松 雄治（看護師）		
	伊藤 光沙（看護師）	石黒 智子（看護師）	齋藤 恵（看護師）		
	渋谷 澄子（准看護師）	村上 直美（看護師）	三上 順子（看護師）		
	佐藤真紀子（看護師）	池上友紀子（言語聴覚士）	中嶋 秋花（理学療法士）		
	斎藤 信一（リハ主任）	佐々木哲裕（医事課）	吉澤 佳子（管理栄養士）		
	鳴海 悦子（管理栄養士）	成田 笑美（医療相談員）			

3. 活動記録

1病棟	毎週金曜日	13:00～
2病棟	毎週月曜日	13:00～
3病棟	月1回第2木曜日	16:00～
4病棟	月1回第2木曜日	16:00～
5病棟	月1回第4木曜日	16:00～

	1病棟	2病棟	3病棟	4病棟	5病棟
4月	17	30	8	10	5
5月	16	25	7	4	6
6月	20	32	7	2	7
7月	13	35	7	7	7
8月	17	24	6	7	11
9月	15	24	4	1	4
10月	16	26	6	6	6
11月	20	24	4	6	7
12月	18	26	4	10	6
1月	14	33	7	7	6
2月	17	26	8	10	6
3月	12	25	6	8	7
合計	195件	330件	74件	78件	78件

4. 活動要約

- NST シートを一部修正し、運用状況を確認した。
- 一般病棟での NST 対象者を回復期病棟でも評価しているが、一般病棟では問題なかったが、回復期病棟転棟後食欲不振になった患者の抽出なども継続して行われた。
- 8月8日 NST メンバー対象の勉強会「褥瘡と栄養管理」を実施し、7名の参加あり。

ICT(Infection Control Team)

1. 活動目的

本チームは、一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける感染管理を担当する専門職によるグループで、院内ラウンドなどの活動を通して院内感染防止を目的として活動しています。

2. 構成員

リーダー	清野 聡 (医局長)		
メンバー	萩井 譲士 (内科副部長)	出町真知子 (看護師)	佐藤 登康 (作業療法士)
	漆沢 修治 (看護師)	毛利 暢子 (看護主任)	久米田一喜 (薬剤師)
	工藤 直美 (看護師)	三上 夏美 (看護師)	倉内 寿孝 (薬剤師)
	松川 千尋 (看護師)	棟方 直子 (看護師)	川村 隆行 (診療放射線技師長)
	小笠原美幸 (看護師長)	板垣 充子 (看護師)	阿保 文子 (臨床検査技師長)
	渡部 牧子 (看護師)	渋谷 知樹 (看護師)	蒔苗 寿治 (医事課長)
	大川 麻美 (看護主任)	長谷川国俊 (リハ士長)	齋藤 理恵 (医事課主任)
	赤石富士子 (看護師)	藤田 幸江 (言語聴覚士)	

3. 委員会開催記録

回	開催日	内 容
1	平成 25 年 4 月 11 日	ラウンド運用、感染防止対策加算について
2	平成 25 年 5 月 9 日	ラウンド運用、手洗い石鹼・手指消毒剤検討
3	平成 25 年 6 月 13 日	ラウンド評価、マニュアル見直し 手洗い石鹼・手指消毒剤変更
4	平成 25 年 7 月 11 日	ラウンド評価、マニュアル見直し 手指消毒剤変更後、不具合等評価・検討
5	平成 25 年 7 月 19 日	多剤耐性緑膿菌アウトブレイク対応検討
6	平成 25 年 8 月 15 日	ラウンド評価、マニュアル見直し
7	平成 25 年 9 月 12 日	ラウンド評価、マニュアル見直し CD トキシン検査キット購入必要性検討
8	平成 25 年 10 月 10 日	ラウンド評価、マニュアル見直し 次回、勉強会内容検討
9	平成 25 年 11 月 14 日	ラウンド評価、マニュアル見直し 感染報告レポート様式変更案検討 ルミテスター導入について

10	平成 25 年 12 月 12 日	ラウンド評価、マニュアル見直し デスポ製品についての評価・検討
11	平成 26 年 1 月 16 日	ラウンド評価、マニュアル見直し 手指保護剤導入検討
12	平成 26 年 2 月 13 日	ラウンド評価、マニュアル見直し ノロウイルス発生時対応の見直し
13	平成 26 年 3 月 13 日	ラウンド評価、マニュアル見直し 感染報告レポート様式変更案検討 ノロウイルス・インフルエンザ発生状況把握
14	平成 26 年 3 月 13 日	インフルエンザ アウトブレイク対応検討

4. 活動要約

- ・院内ラウンド実施それを評価し感染対策委員会にて提言
- ・院内感染対策マニュアル見直し・作成
- ・手洗い石鹸・手指消毒剤の見直し・変更・新規採用
- ・院内感染発生時、臨時会議を開き対応を検討

脳ドックワーキンググループ

1. 活動目的

「脳ドック」を希望する対象者のニーズに応える。もって、根治の難しい神経疾患の発生を予防する。「脳ドック」を円滑に実施するにあたり、ワーキンググループを組織する。

2. 構成員

リーダー	内沢 隆充（脳神経外科部長）	
メンバー	目時 典文（内科副部長）	萩井 譲士（内科副部長）
	小田桐千代（看護師長）	川村 隆行（診療放射線技師長）
	阿保 文子（臨床検査技師長）	蒔苗 寿治（医事課長）
	立林 修（医事課係長）	工藤 博人（企画運営課長）

3. 委員会開催記録

回	開催日	内容
1	平成 25 年 9 月 6 日	概要説明、運用についての検討
2	平成 25 年 9 月 13 日	案内、問診票、ポスター、ホームページ掲載、流れと役割分担について
3	平成 25 年 9 月 20 日	前回の修正箇所の確認、結果報告内容、昼食提供体制、申込連絡体制の確認について
4	平成 25 年 12 月 24 日	公立学校共済青森支部より「脳検診事業」への参加依頼について問い合わせ。（※リーダーの内沢医師へ確認し了承） 【委員会開催なし】
5	平成 26 年 3 月 26 日	公立学校共済「脳検診事業」について正式依頼 (平成 26 年度、80 名)【委員会開催なし】

4. 活動要約

- ・ 平成 25 年度の目標であった「脳ドック」をスタートさせることが出来た。
- ・ 平成 25 年度の実施者数は 7 件であった。（平成 25 年 10 月～平成 26 年 3 月）
- ・ 次年度より公立学校共済と「脳検診」の委託契約を締結予定。
- ・ 将来的に日本脳ドック学会認定施設の取得を目指す。

口腔ケアワーキンググループ

1. 活動目的

本チームは、財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンターにおける入院患者の口腔衛生の向上と維持のために活動するものである。

2. 構成員

リーダー	三浦 順子 (リハビリテーション部技師長)	
サブリーダー	吉岡百合子 (作業療法士)	
メンバー	松山 哲子 (リハ主任)	佐藤 登康 (作業療法士)
	小堀文美子 (歯科衛生士)	
	藪崎 遥子 (看護師)	谷川 千佳 (看護師)
	芳賀 沙織 (看護師)	白川 順子 (看護助手)
	白戸美千代 (看護師)	近藤 公佳 (看護師)
	大谷 輝美 (准看護師)	能登谷太地 (看護師)
	加藤 一恵 (看護師)	齊藤 日和 (看護師)
	成田 雅子 (看護師)	鈴木 敦子 (准看護師)

3. 委員会開催記録

回	開催日	内容
1	平成 25 年 4 月 4 日	アセスメント運用と今年度の活動計画の検討
2	平成 25 年 5 月 9 日	アセスメント運用の確認と周知、勉強会計画
3	平成 25 年 6 月 6 日	アセスメントシートの修正
4	平成 25 年 7 月 3 日	アセスメント運用上の問題点検討
5	平成 25 年 8 月 1 日	アセスメント運用状況の確認 齧蝕歯の評価法の勉強会計画 口腔ケア用新商品の試用
6	平成 25 年 9 月 5 日	アセスメントシート運用状況評価 保湿剤の比較
7	平成 25 年 10 月 3 日	口腔ケアの意義と方法についての勉強会
8	平成 25 年 11 月 7 日	脳卒中と口腔ケアについての勉強会
9	平成 25 年 12 月 5 日	糖尿病・認知症と口腔ケアについての勉強会
10	平成 26 年 2 月 6 日	病棟ラウンドと結果の評価 (東棟)
11	平成 26 年 3 月 6 日	病棟ラウンドと結果の評価 (中央棟)

4. 活動要約

- ・ 口腔ケアアセスメントシートと運用を一部修正し、運用状況を確認した。
- ・ 脳卒中と口腔ケアの関連、口腔の見方などの基本を再確認した。
- ・ 院内をラウンドし、評価を重ねたことで、一定の成果が得られた。
- ・ 口腔の見方と口腔ケアの意義、アセスメントの方法については、次年度の院内勉強会に組み込む計画を立て、職員の更なる技術向上に努めることとした。

編 集 後 記

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター年報第1号（平成23年度～平成25年度）をお届けします。

当センターは、「質の高い医療・リハビリテーションを実践し、地域社会の保健医療福祉に貢献します」という黎明郷の理念の下、平成23年4月に平川市碓ヶ関にあった黎明郷リハビリテーション病院を統合し、一般病棟79床と回復期リハビリテーション病棟169床を併せもつ現在の弘前脳卒中・リハビリテーションセンターとなりました。統合後は院内組織の様々な見直しが行われ、各種委員会活動の活性化も図られました。広報委員会としては、平成24年7月にホームページを一新して、センターの活動を情報発信すると共に、web版脳卒中教室等を通じて啓蒙活動を行ってきました。そのような中、院内で年報発刊の気運が高まり、この度の第1号の発刊に至りました。第1号では統合後3年間のセンターの歩みが記されています。職員自らがこの歩みを振り返ることで、今後センターが進むべき方向性が見えてくるものと思います。今回初めての編集作業であったため、構想から発刊までに思いのほか時間が掛かりましたが、年報のフォーマットが出来たことで、次号以降の作業は効率的に行えるものと考えています。

最後に、今回の年報第1号発刊にあたりご協力いただいた職員各位に感謝申し上げます。

広報委員長 岩田 学

【編 集】弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 広報委員会

委員長	岩 田 学	（副院長）
委 員	目 時 典 文	（内科副部長）
	三 國 谷 恵 美 子	（看護部長）
	三 浦 順 子	（リハビリテーション部技師長）
	鳥 谷 部 翔	（薬剤室副室長）
	奈 良 富 士 子	（庶務課長）
	立 林 修	（庶務課長補佐）

